

平成 2 8 年社会生活基本調査

佐賀県の概要

平成 28 年 10 月 20 日現在で実施した「平成 28 年社会生活基本調査」の結果が総務省統計局から公表されました。

これは、佐賀県の概要をとりまとめたものです。

全国の結果はこちら

総務省統計局 H P

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/kekka.html>

目 次

結果の概要

平成28年社会生活基本調査の概要	1
------------------	---

生活行動に関する結果

1 学習・自己啓発・訓練	2
2 ボランティア活動	4
3 スポーツ	6
4 趣味・娯楽	8
5 旅行・行楽	10

生活時間に関する結果

1 1日の生活時間	12
2 1次活動	
(1) 睡眠時間	14
(2) 食事時間	15
3 2次活動	
(1) 仕事時間(有業者)	16
(2) 家事関連時間	17
4 3次活動	
(1) 休養等自由時間活動	18
(2) 積極的自由時間活動	19
5 各種属性別にみた生活時間	
(1) 夫と妻の生活時間	20
6 主な行動の平均時刻	
(1) 起床・就寝時刻、朝食・夕食開始時刻	21
(2) 出勤及び仕事からの帰宅時刻	22
7 スマートフォン・パソコンなどの使用状況	
(1) スマートフォン・パソコンなどの使用割合	23
(2) スマートフォン・パソコンなどの使用時間	23

主要統計表

生活行動に関する結果

第1表 学習・自己啓発・訓練の種類別行動者数

第2表 学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率

第3表 ボランティア活動の種類別行動者数

第4表 ボランティア活動の種類別行動者率

第5表 スポーツの種類別行動者数

第6表 スポーツの種類別行動者率

第7表 趣味・娯楽の種類別行動者数

第8表 趣味・娯楽の種類別行動者率

第9表 旅行・行楽の種類別行動者数

第10表 旅行・行楽の種類別行動者率

生活時間に関する結果

第11表 男女、行動の種類別生活時間（10歳以上）

第12表 男女、ふだんの就業状態、年齢、行動の種類別生活時間（15歳以上）

第13表 末子の年齢、共働きか否か別生活時間（子供のいる世帯の夫・妻）

第14表 男女、曜日別、起床の平均時刻

第15表 男女、曜日別、就寝の平均時刻

第16表 男女、曜日別、朝食開始の平均時刻

第17表 男女、曜日別、夕食開始の平均時刻

第18表 男女、曜日別、平均出勤時刻

第19表 男女、曜日別、仕事からの平均帰宅時刻

第20表 スマートフォン・パソコンなどの使用状況（使用割合・使用時間）

- 平成 28 年社会生活基本調査の概要 -

1 調査の目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施しており、平成 28 年調査で 9 回目となる。

なお、平成 13 年調査から、生活時間についての詳細な結果を得るために「調査票 A」及び「調査票 B」の種類別の調査票を用いて調査している。

2 調査対象

総務大臣が指定する 131 調査区（全国では 7,311 調査区）の中から無作為に選定した約 1,600 世帯（全国では約 88,000 世帯）に居住する 10 歳以上の世帯員を対象とした。

3 調査期日

調査は平成 28 年 10 月 20 日現在で実施した。

ただし、生活時間については、10 月 15 日から 10 月 23 日までの 9 日間のうち、調査区ごとに指定した連続する 2 日間について調査した。

4 調査事項

(1) 全ての世帯員に関する事項

世帯主との続柄、出生の月日又は年齢、在学・卒業等教育又は保育の状況

(2) 10 歳未満の世帯員に関する事項

育児支援の利用の状況

(3) 10 歳以上の世帯員に関する事項

氏名、男女の別、学習・研究活動の状況、スマートフォン・パソコンなどの使用状況、生活時間の配分及び天候など

(4) 15 歳以上の世帯員に関する事項

介護の状況、就業状況、勤務形態、年次有給休暇の取得日数、仕事の種類、ふだんの 1 週間の就業時間など

(5) 世帯に関する事項

世帯の種類、10 歳以上の世帯員数、10 歳未満の世帯員数、自家用車の所有の状況、介護支援の利用の状況など

5 主な用語の解説

1 次活動・・・睡眠、食事など生理的に必要な活動

2 次活動・・・仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3 次活動・・・1 次活動、2 次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

行動者数・・・過去 1 年間（平成 27 年 10 月 20 日～平成 28 年 10 月 19 日）に該当する種類の活動を行った人（10 歳以上）の数

行動者率・・・10 歳以上人口に対する行動者数の割合（％）

家事関連活動・・・2 次活動のうち、「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」

自由時間活動・・・3 次活動のうち、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」及び「休養・くつろぎ」を休養等自由時間活動、「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」及び「ボランティア活動・社会参加活動」を積極的自由時間活動と定義している。

生活行動に関する結果

1 学習・自己啓発・訓練

行動者率は33.7%で5年前より2.6ポイント上昇。全国平均よりも3.2ポイント低くなっている。男性は「パソコンなどの情報処理」の行動者率が最も高く、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い

過去1年間（平成27年10月20日～28年10月19日。以下同じ。）に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人（10歳以上）は24万3千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率。以下同じ。）は33.7%となっている。全国平均（36.9%）と比べると3.2ポイント低くなっており、全国順位は25位となっている。男女別にみると、男性は31.8%、女性は35.4%で、女性が男性より3.6ポイント高くなっている。

行動者率を平成23年（31.1%）と比較すると2.6ポイント上昇している。これを男女別にみると、男女ともに2.6ポイント上昇している。

行動者率を種類別にみると、「パソコンなどの情報処理」が11.1%と最も高く、次いで「芸術・文化」が10.7%などとなっている。平成23年と比べると、「家政・家事」及び「英語」でそれぞれ2.1ポイント上昇するなど、「英語以外の外国語」を除く全ての種類で上昇している。（図1-1）

種類毎に男女別の行動者率をみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が12.9%と最も高く、次いで「人文・社会・自然科学」が8.6%となっている。女性は「家政・家事」が15.7%と最も高く、次いで「芸術・文化」が13.2%などとなっている。（図1-2）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成23年、28年）

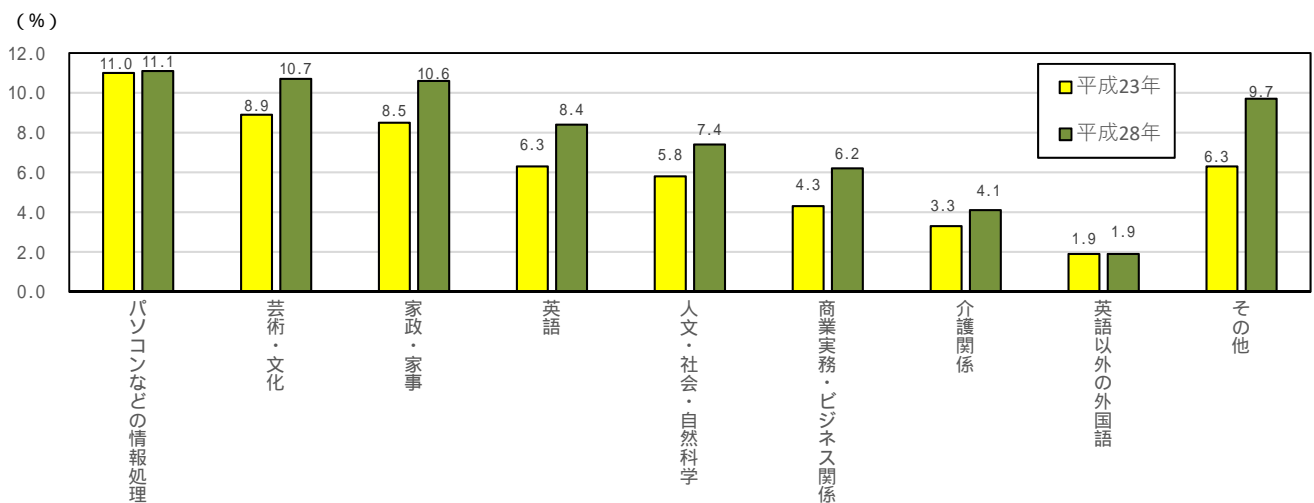
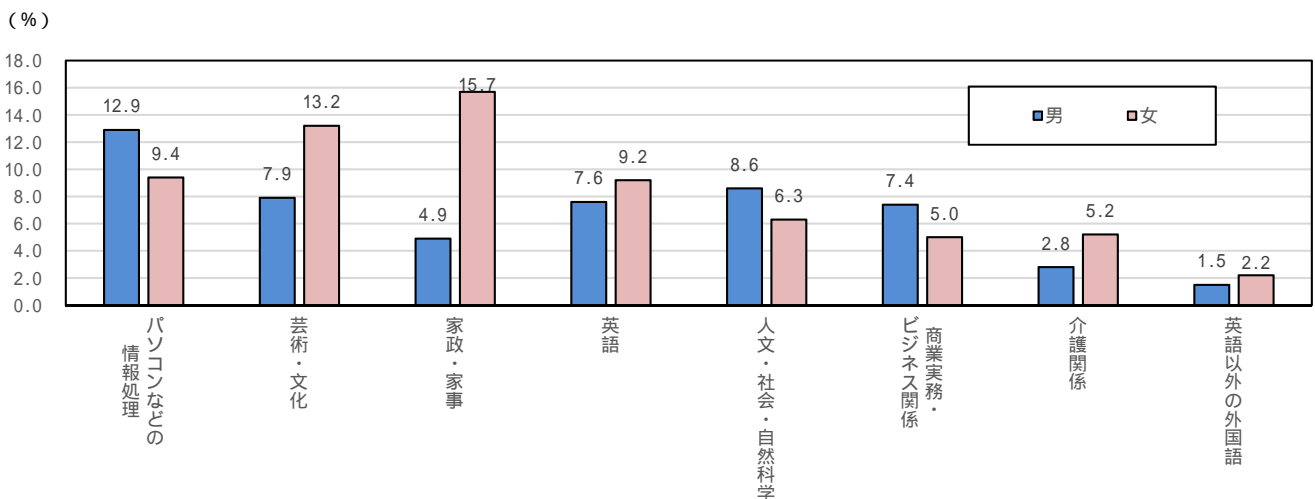


図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女別行動者率（平成28年）



男女及び年齢階級別にみると、25～34歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で女性の方が高くなっている。(図1-3)

また、種類別にみると、「家政・家事」は全ての年齢階級で女性の行動者率が高くなっており、35～44歳の男女の差は1.1ポイントとなっているものの、そのほかの年齢階級では、男女で大きな開きがある。(図1-4)

図1-3 「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

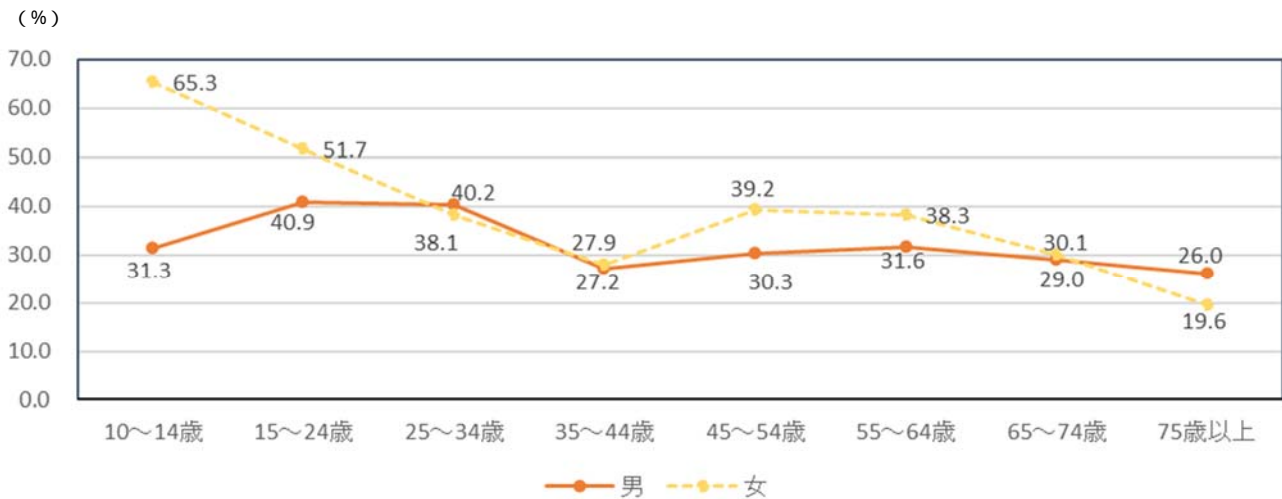
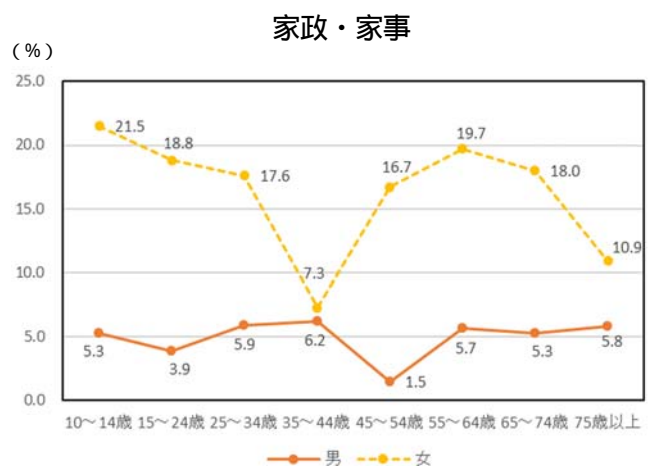
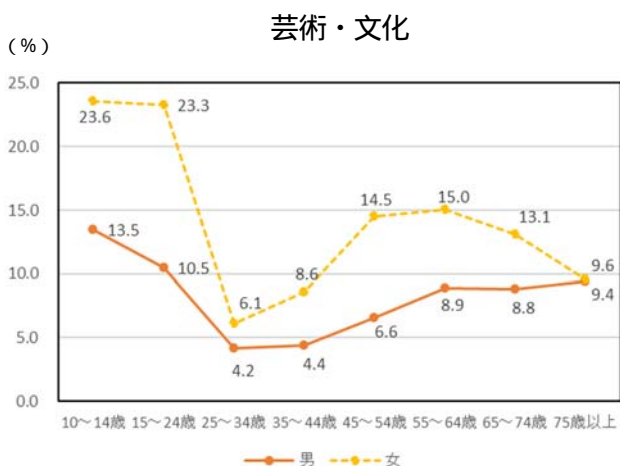
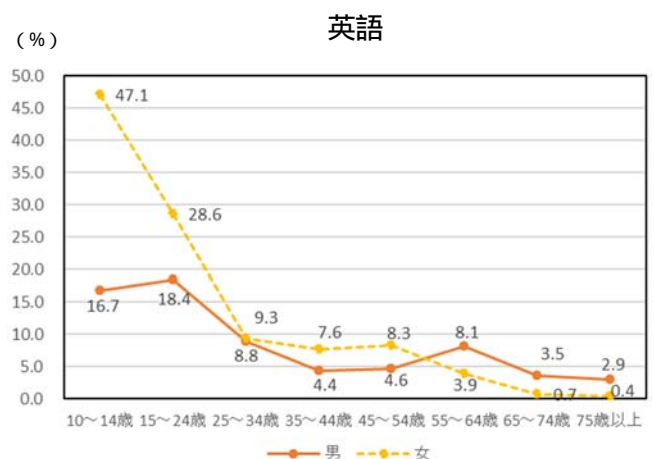
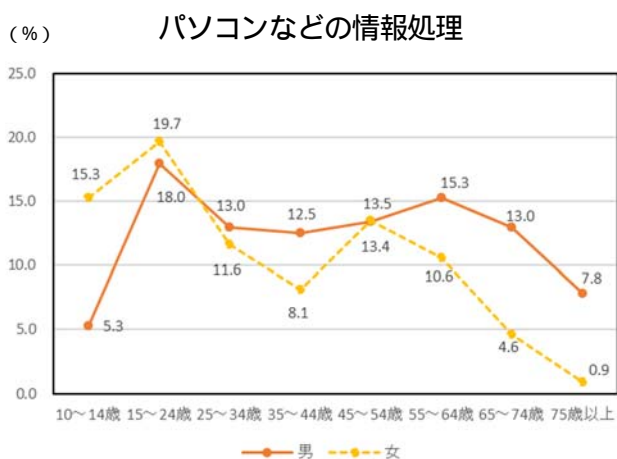


図1-4 主な「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



注)「学習・自己啓発・訓練」とは、個人の自由時間を活用して、知識・教養を高めるためや仕事に役立てることなどの目的で行うものである。(仕事・学業として行うもの、単に趣味・娯楽として行うものは除く。)

2 ボランティア活動

行動者率は32.6%で5年前より0.8ポイント上昇。全国平均より6.6ポイント高く、全国順位では第5位

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は23万5千人で、行動者率は32.6%となっている。全国平均(26.0%)と比べると6.6ポイント高くなっており、全国順位は5位となっている。男女別にみると、男性は32.2%、女性は33.0%で、女性が男性より0.8ポイント高くなっている。

行動者率を平成23年(31.8%)と比較すると0.8ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性は1.3ポイント低下、女性は2.7ポイント上昇している。

行動者率を種類別にみると、「まちづくりのための活動」が18.9%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が9.7%などとなっている。これを平成23年と比べると、「まちづくりのための活動」が1.8ポイント、「子供を対象とした活動」が0.3ポイント上昇している。(図2-1)

また、男女別にみると、男女ともに「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで「子供を対象とした活動」となっている。「まちづくりのための活動」では男性が女性よりも1.0ポイント高く、「子供を対象とした活動」では、女性が男性よりも3.8ポイント高くなっている。(図2-2)

図2-1 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成23年、28年)

(%)

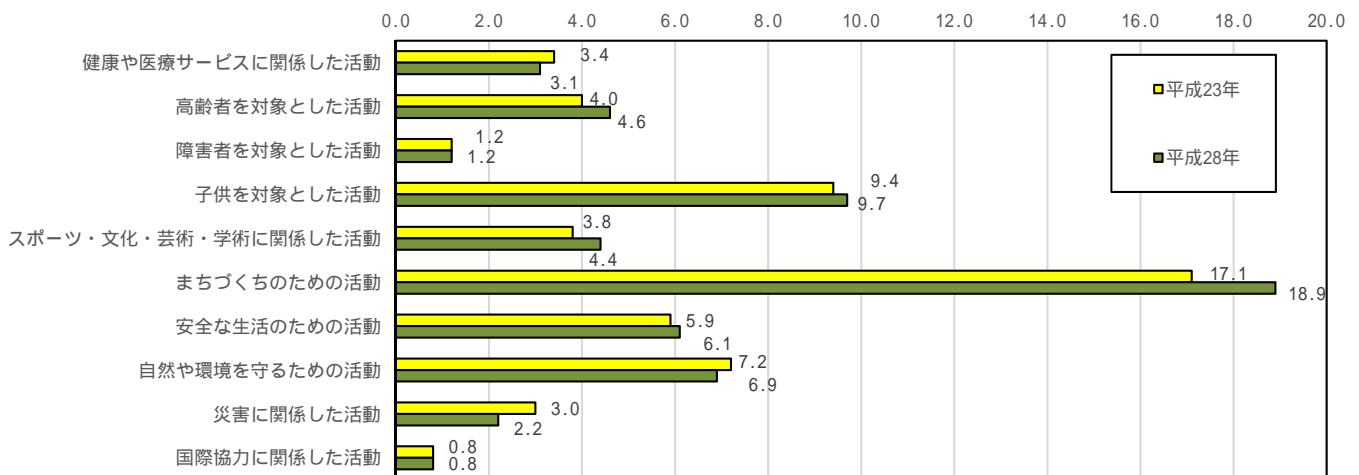
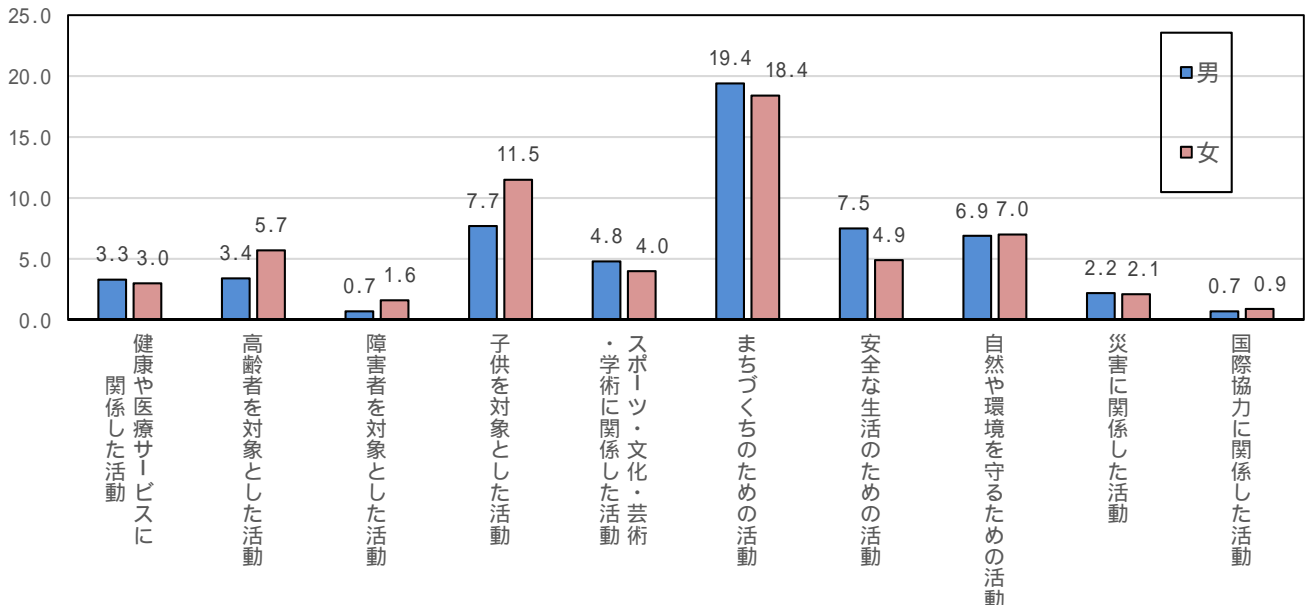


図2-2 「ボランティア活動」の種類、男女別行動者率(平成28年)

(%)



行動者率を男女及び年齢階級別にみると、25～34歳、65～74歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。(図2-3)

種類別にみると、「子供を対象とした活動」では15～54歳で女性の行動率が男性を上回っており、特に35～44歳でその差が大きくなっている。また、「安全な生活のための活動」では、10～24歳及び35～44歳を除いて、全ての年齢階級で男性が女性を上回っている。(図2-4)

図2-3 「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

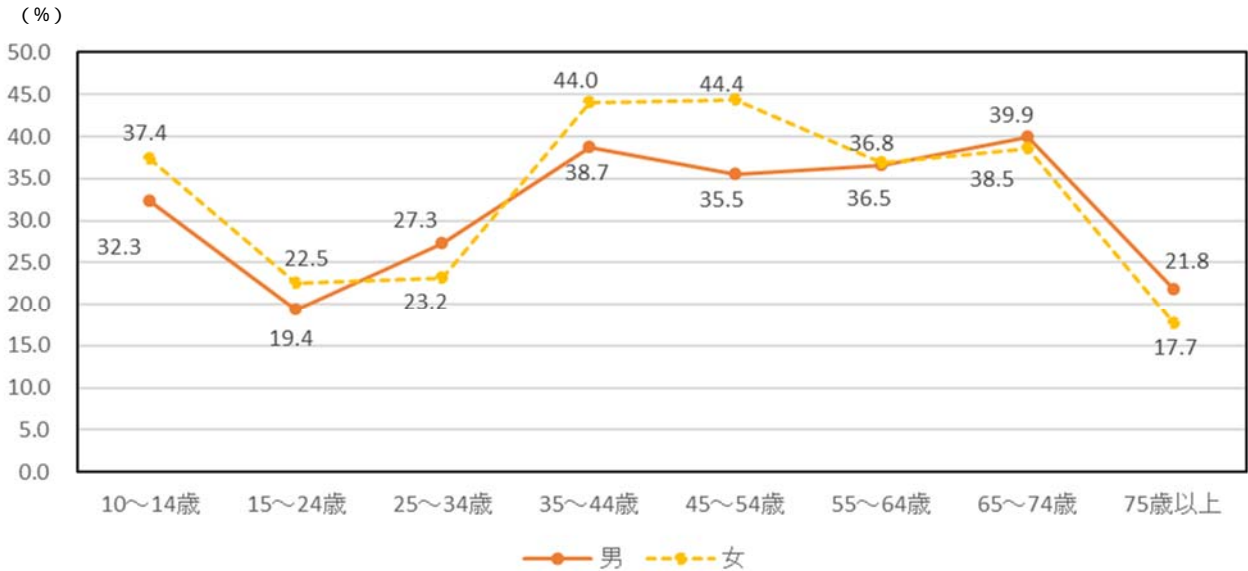
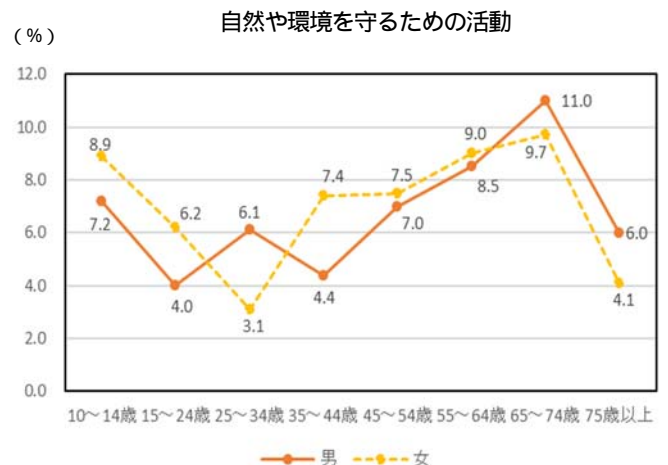
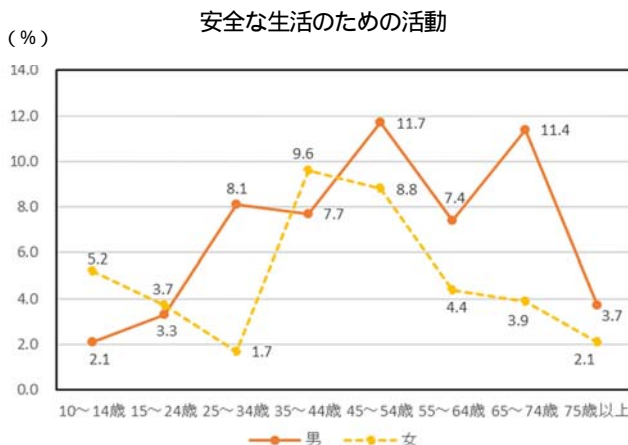
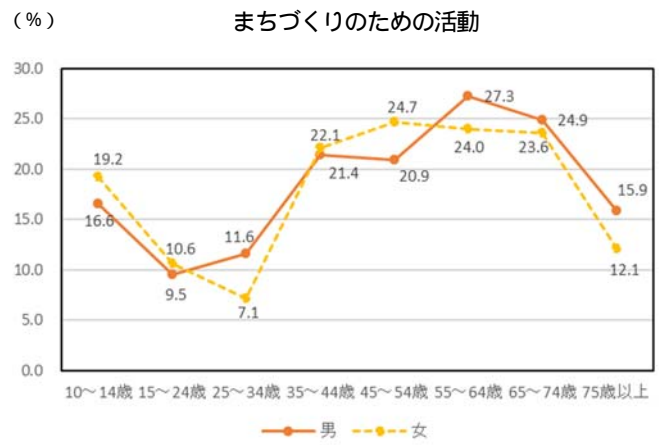
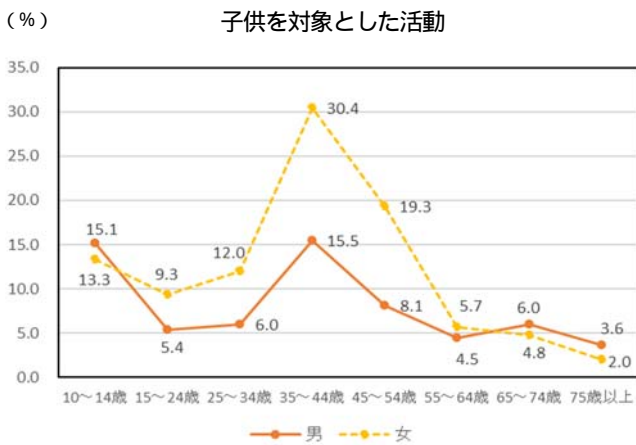


図2-4 主な「ボランティア活動」の種類、男女、年齢階級別行動者率



3 スポーツ

行動者率は63.4%で、5年前より5.6ポイント上昇。全国平均より5.4ポイント低く、男女ともにウォーキング・軽い体操が最も高い

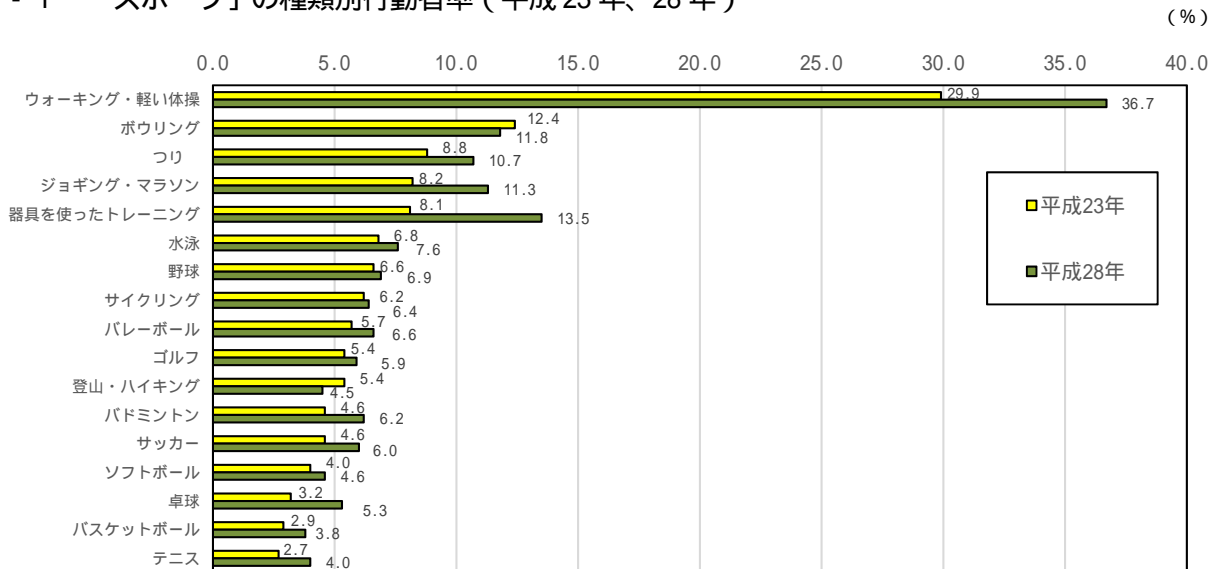
過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は45万7千人で、行動者率は63.4%となっている。全国平均(68.8%)と比べると5.4ポイント低くなっており、全国順位は40位となっている。男女別にみると、男性は68.0%、女性は59.3%で、男性が女性より8.7ポイント高くなっている。

行動者率を平成23年(57.8%)と比較すると5.6ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性は3.1ポイント、女性は7.7ポイント上昇している。

行動者率を種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」が36.7%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が13.5%などとなっている。これを平成23年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が6.8ポイント上昇するなど、ほとんどの種類で上昇している。一方、「登山・ハイキング」は0.9ポイント、「ボウリング」は0.6ポイント低下している。(図3-1)

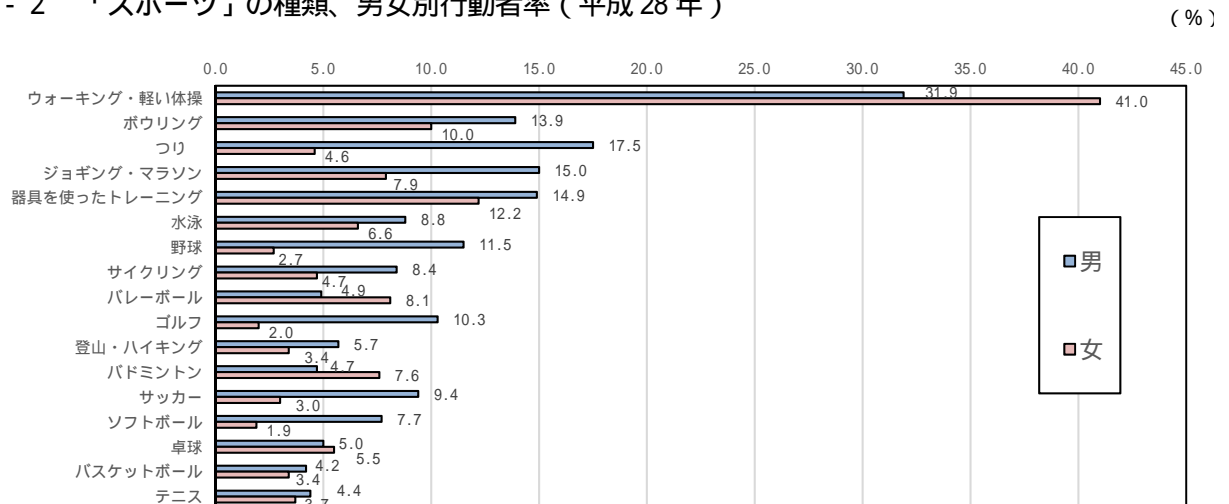
また、男女別にみると、男女とも「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで男性は「つり」、女性は「器具を使ったトレーニング」などとなっている。(図3-2)

図3-1 「スポーツ」の種類別行動者率(平成23年、28年)



注) 平成28年の行動者率が3%以上の種類を表章。

図3-2 「スポーツ」の種類、男女別行動者率(平成28年)



注) 行動者率が3%以上の種類を表章。

行動者率を男女及び年齢階級別にみると、45～54歳を除く全ての年齢階級で男性が女性を上回っている。(図3-3)

また、種類別にみると、「ウォーキング・軽い体操」は75歳以上を除く全ての年齢階級で女性の割合が男性を上回っているが、一方で「ジョギング・マラソン」は全ての年齢階級で男性が女性よりも高くなっている。また、「器具を使ったトレーニング」では、25～64歳までの年齢階級について、女性の行動者率がほぼ横ばいであるのに対して、男性は年齢が上がるほど、行動者率が下がっている。(図3-4)

図3-3 「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

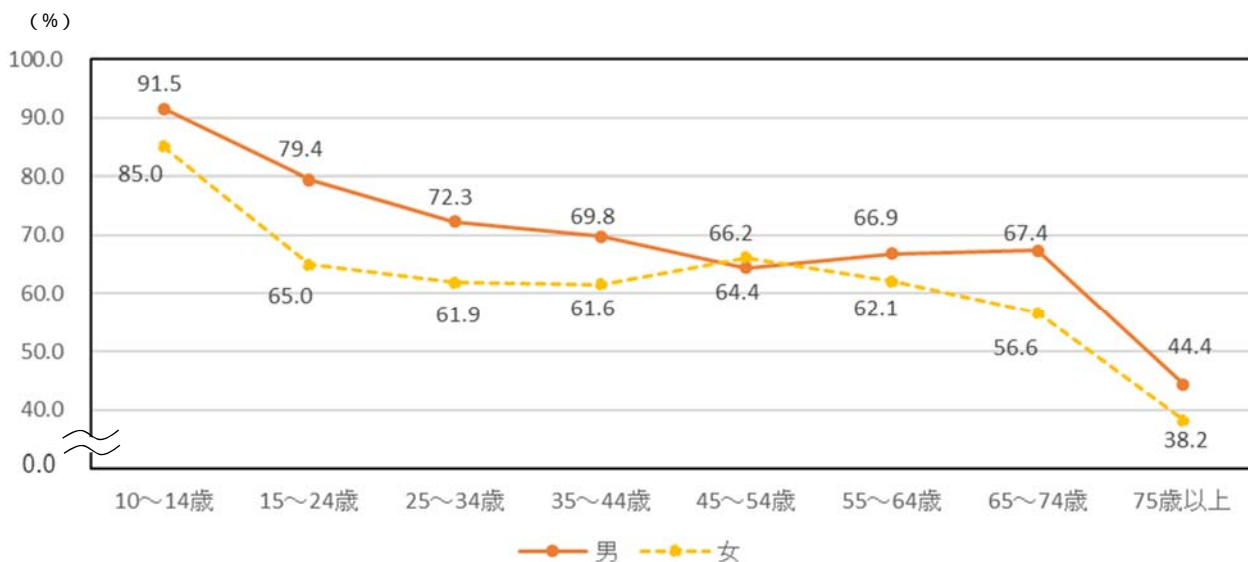
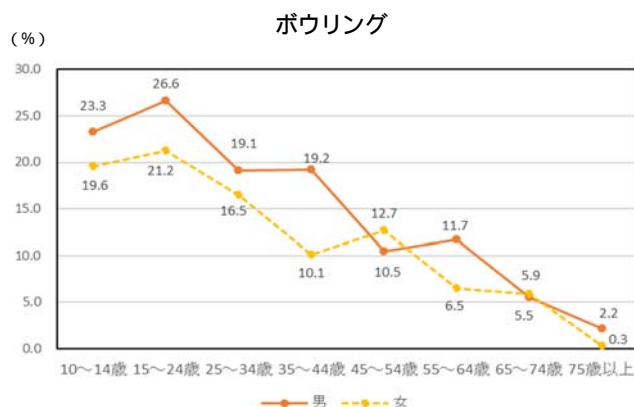
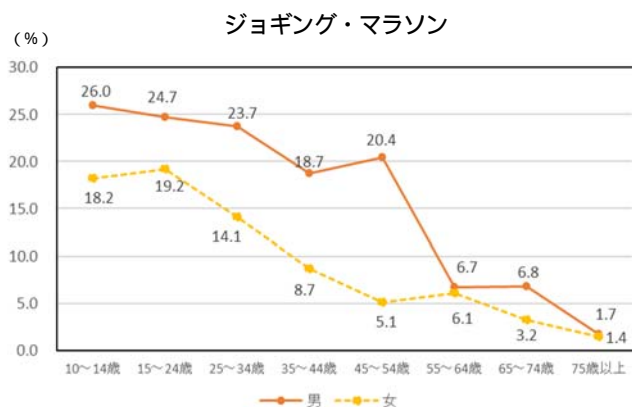
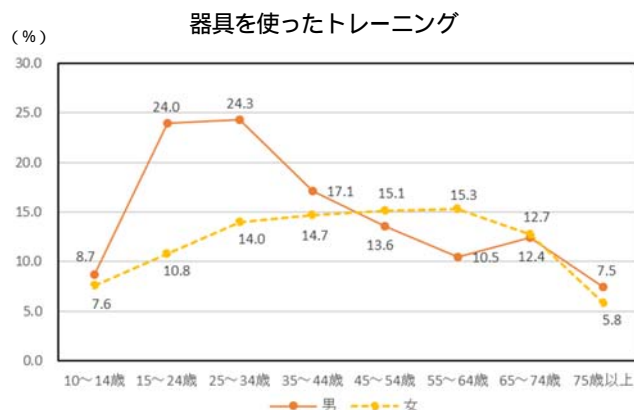
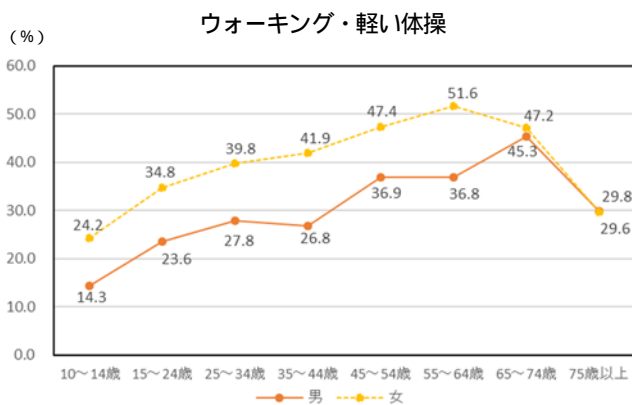


図3-4 主な「スポーツ」の種類、男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



注)「スポーツ」には、クラブ活動や部活動は含むが、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒等が体育・授業で行うものは除く。

4 趣味・娯楽

行動者率は83.1%で、5年前より2.3ポイント上昇、全国平均よりも3.9ポイント低い

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は59万9千人で、行動者率は83.1%となっている。全国平均（87.0%）と比べると3.9ポイント低くなっており、全国順位は39位となっている。男女別にみると、男性は82.0%、女性は84.1%で、女性が男性より2.1ポイント高くなっている。

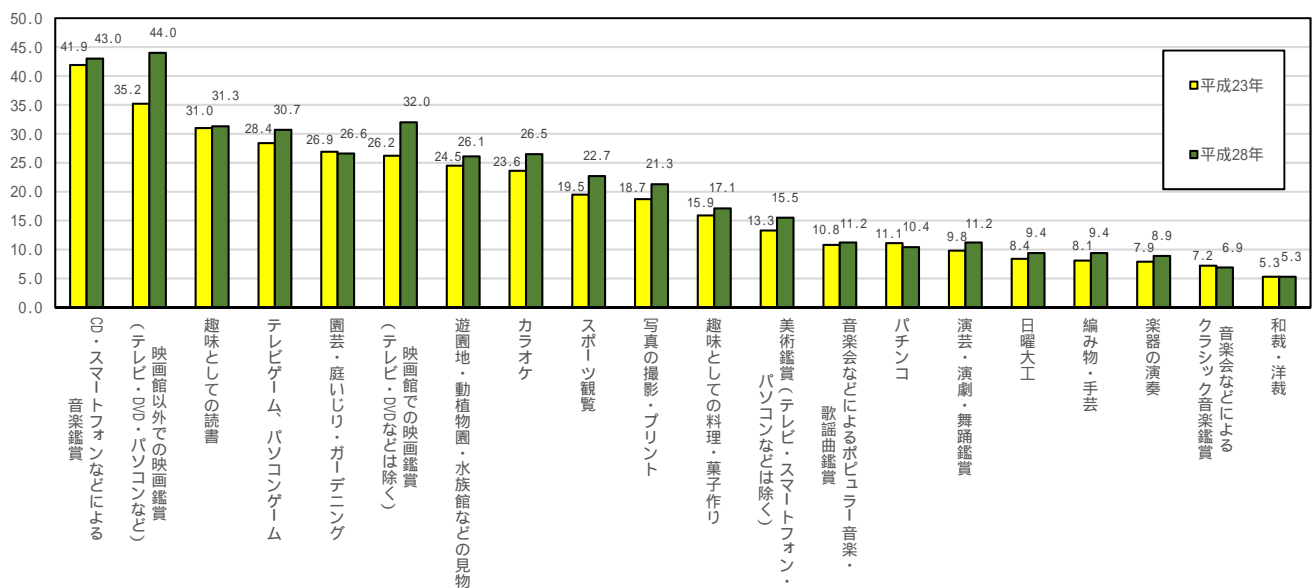
行動者率を平成23年（80.8%）と比較すると2.3ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性は1.3ポイント、女性は3.3ポイント上昇している。

行動者率を種類別にみると、「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」が44.0%と最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が43.0%などとなっている。これを平成23年と比べると、「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」が8.8ポイント上昇、「映画館での映画鑑賞（テレビ・DVDなどは除く）」が5.8ポイント上昇している。（図4-1）

また、男女別にみると、男性では「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」が最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」などとなっており、女性では「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が最も高く、次いで「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」などとなっている。（図4-2）

図4-1 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成23年、28年）

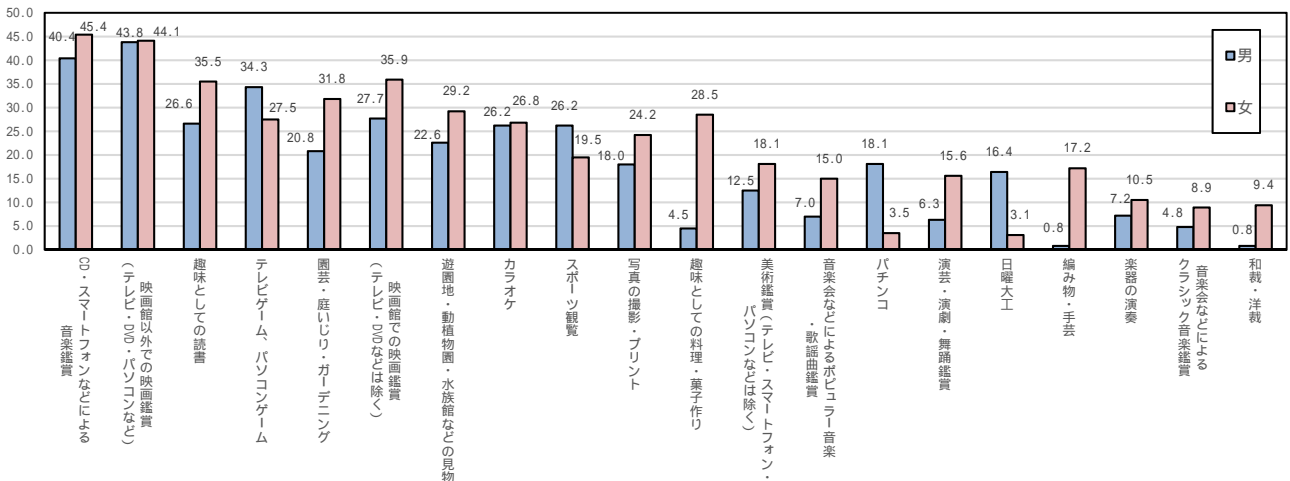
(%)



注) 平成28年の行動率が3%以上の種類を表章。

図4-2 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率（平成28年）

(%)

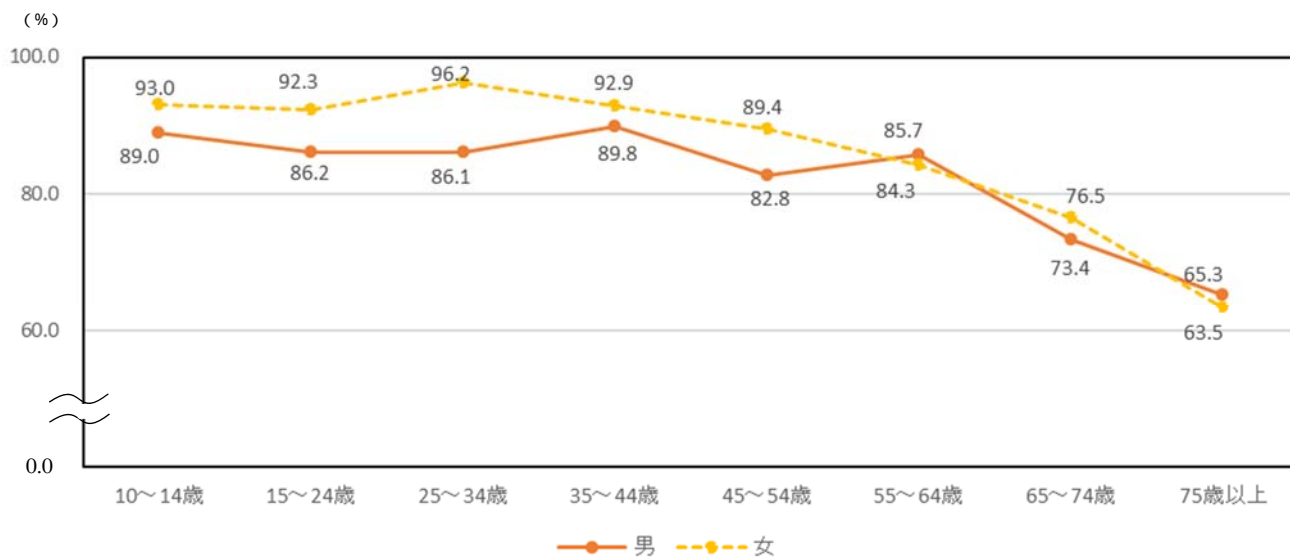


注) 行動率が3%以上の種類を表章。

行動者率を男女及び年齢階級別にみると、55～64歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。(図4-3)

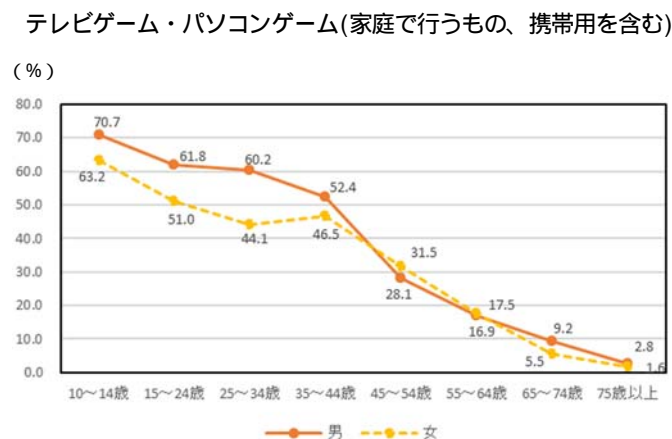
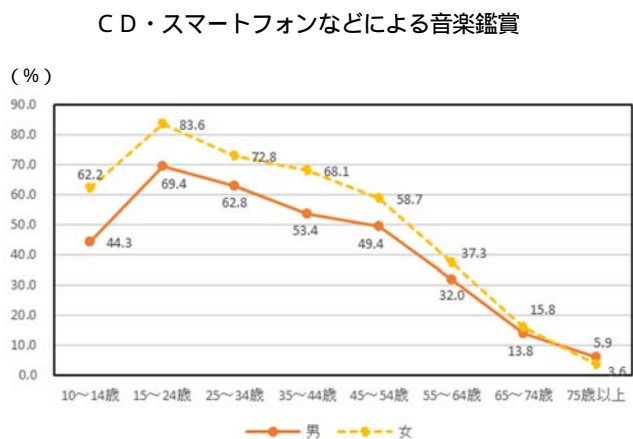
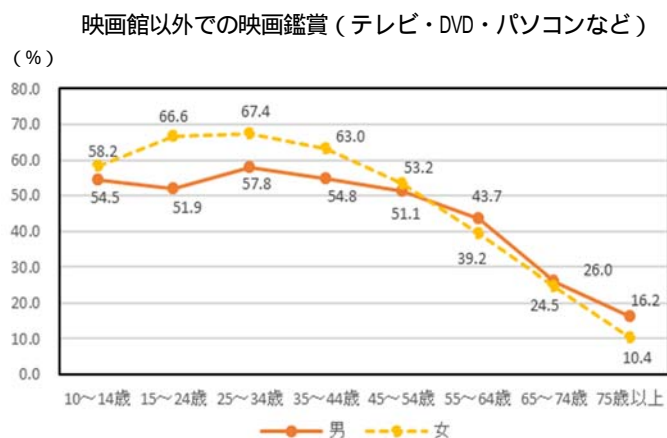
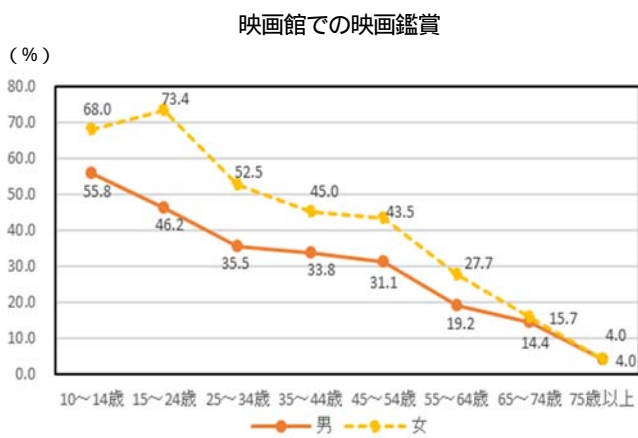
また、種類別にみると、「映画館での映画鑑賞」及び「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」はおおむね女性が男性を上回っているが、「テレビゲーム・パソコンゲーム(家庭でおこなうもの、携帯用を含む)」はおおむね男性が女性を上回っている。(図4-4)

図4-3 「趣味・娯楽」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



注) 行動者率が男女ともに3%以上の種類を表章。

図4-4 主な「趣味・娯楽」の種類、男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



5 旅行・行楽

行動者率は68.5%で、5年前より0.1ポイント上昇し、全国平均よりも5.0ポイント低くなっている。種類別では、「観光旅行(国内)」、「帰省・訪問などの旅行」などの項目が上昇

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は49万4千人で、行動者率は68.5%となっている。全国平均(73.5%)と比べると5.0ポイント低くなっており、全国順位は33位となっている。男女別にみると、男性は64.2%、女性は72.4%で、女性が男性より8.2ポイント高くなっている。

行動者率を平成23年(68.4%)と比較すると0.1ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が1.5ポイント低下、女性は1.5ポイント上昇している。

行動者率を種類別にみると、「行楽(日帰り)」が55.7%と最も高く、次いで「観光旅行(国内)」が43.7%などとなっている。これを平成23年と比べると、「帰省・訪問などの旅行」が5.3ポイント、「観光旅行(国内)」が3.9ポイント上昇している。(図5-1)

また、男女別にみると、男女ともに「行楽(日帰り)」が最も高く、次いで「観光旅行(国内)」などとなっており、全ての種類で女性のほうが高くなっている。(図5-2)

図5-1 「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成23年、28年)

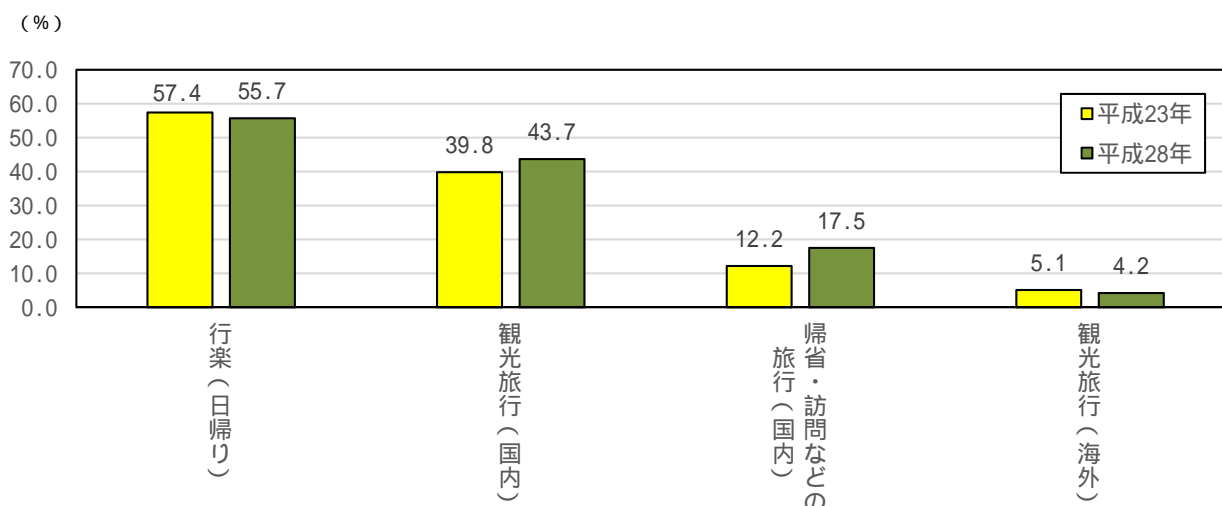
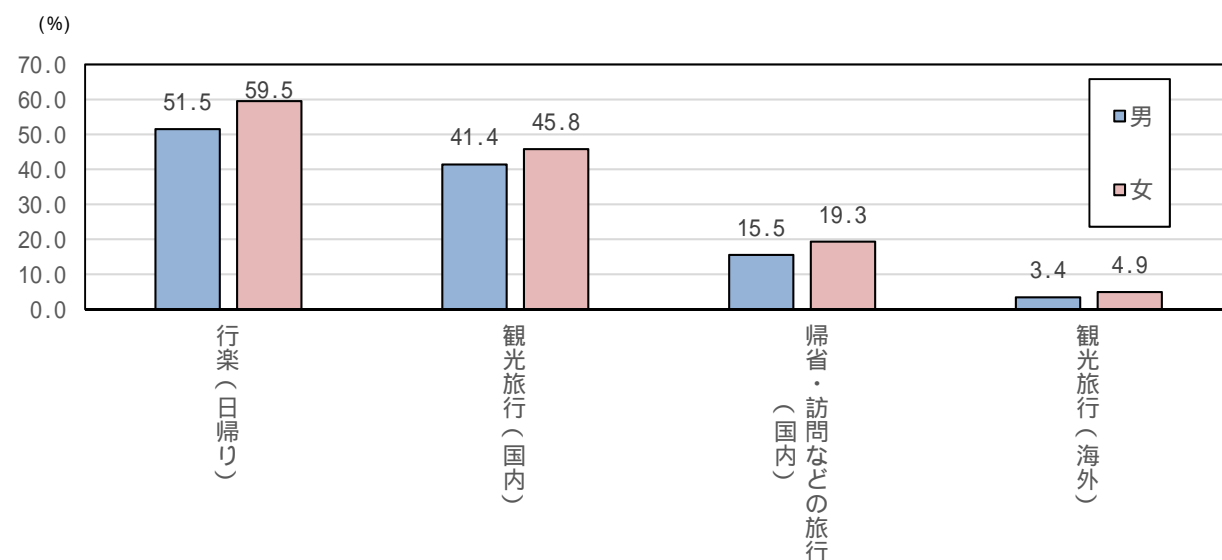


図5-2 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率(平成28年)



注1) 旅行は、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を除く。また、行楽は日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りを含む。

注2) 平成23年は「旅行・行楽」に「業務出張・研修・その他(国内及び海外)」を含めて調査しているため、比較には注意を要する。

行動者率を男女及び年齢階級別にみると、全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。(図5-3)
 また、種類別にみると、「行楽(日帰り)」及び「帰省・訪問などの旅行(国内)」は全ての年齢階級で女性の方が男性よりも高くなっている。(図5-4)

図5-3 「旅行・行楽」の男女、年齢階級別行動者率(平成28年)

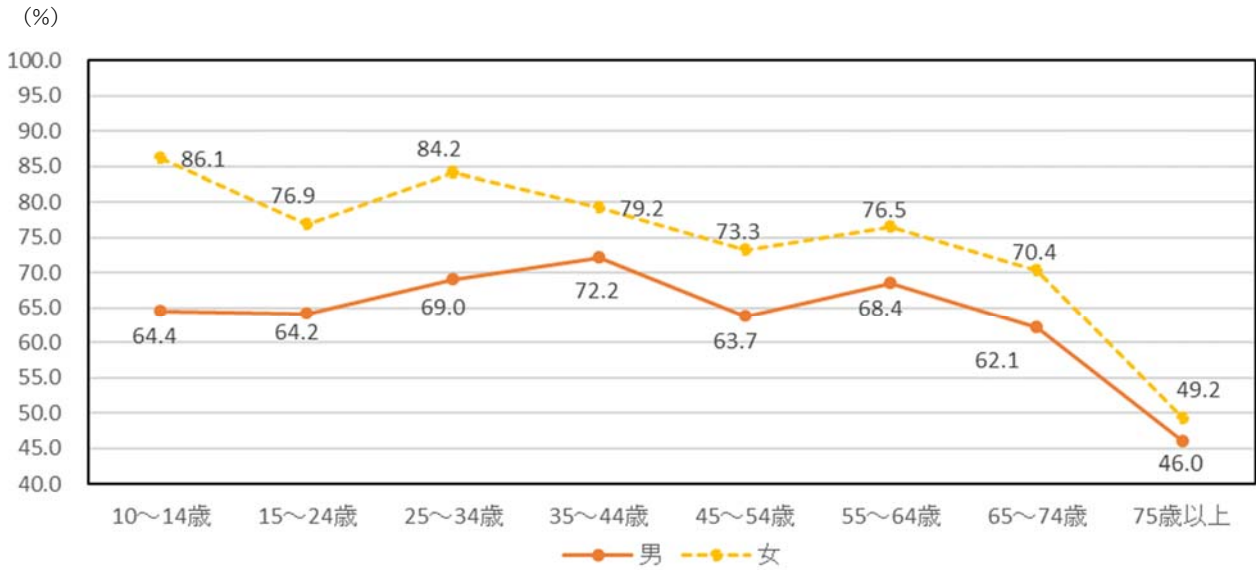
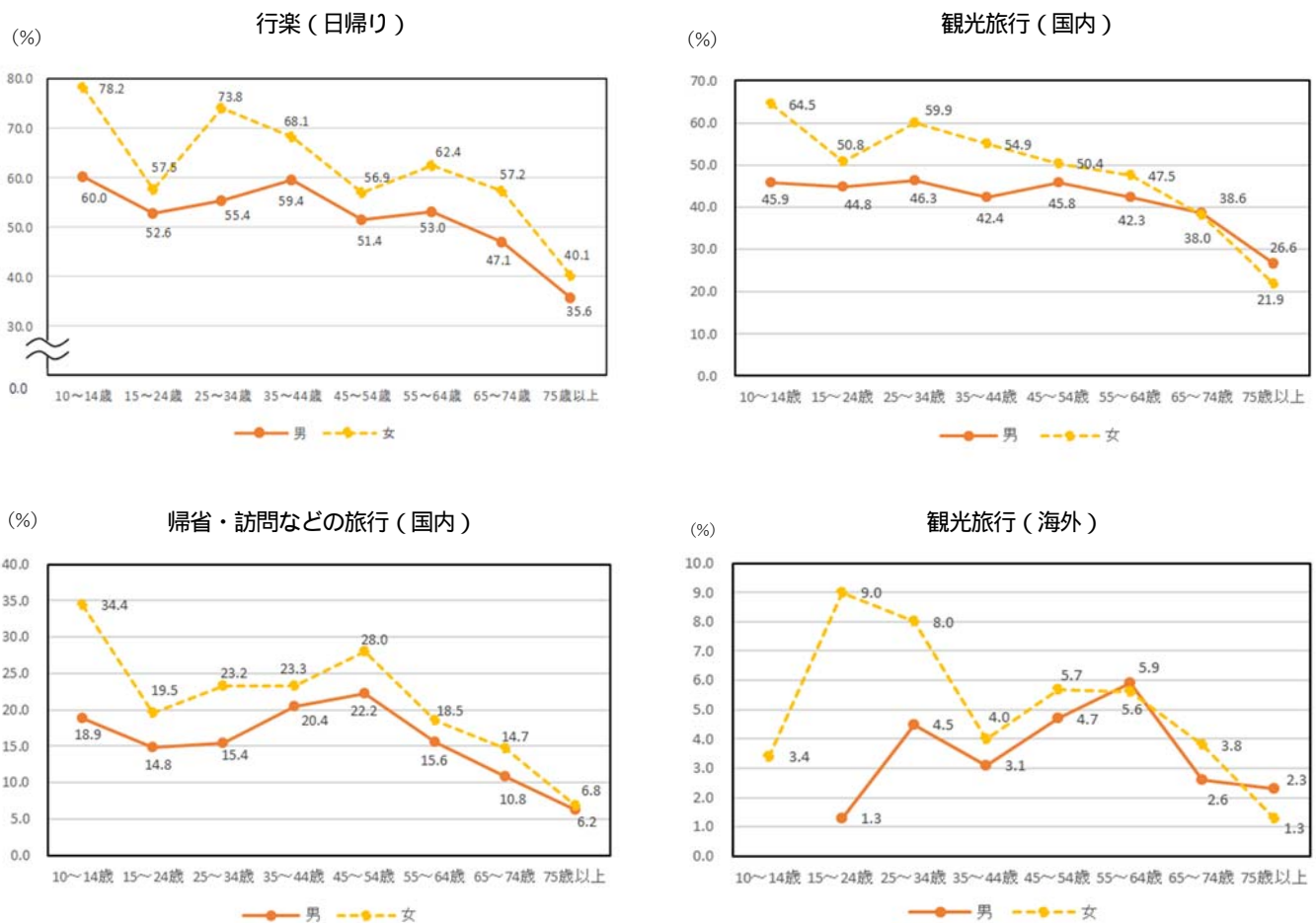


図5-4 主な「旅行・行楽」の種類、男女、年齢階級別行動者率(平成28年)



注) 男性の10~14歳の「観光旅行(海外)」についてはデータがないため、記載していない。

生活時間に関する結果

1 1日の生活時間

睡眠や食事などの1次活動時間及び仕事や家事などの2次活動時間は増加、休養・くつろぎ、趣味・娯楽などの3次活動時間は減少

佐賀県に住んでいる10歳以上の人について、1日の生活時間(週全体平均。以下「週全体」という。)をみると、1次活動時間が10時間43分で、2次活動時間が7時間1分、3次活動時間が6時間16分となっている。

平成23年と比べると、1次活動時間は3分、2次活動時間は9分増加し、3次活動時間は12分減少している。これを男女別にみると、男性は、1次活動時間は1分、2次活動時間は16分増加し、3次活動時間は16分減少している。また、女性は、1次活動時間は5分、2次活動時間は4分増加し、3次活動時間は9分減少している。なお、男女差は、平成23年に比べ、1次活動時間は4分増加し、2次活動時間は12分、3次活動時間は7分減少している。

全国と比べると、1次活動時間は2分、2次活動時間は4分長く、3次活動時間は6分短くなっている。これを男女別にみると、男性は、全国よりも1次活動時間が5分長く、2次活動時間、3次活動時間は、それぞれ2分短くなっている。また、女性は、全国と比べ、1次活動時間は2分、3次活動時間は9分短く、2次活動時間は10分長くなっている。(表1-1、表1-2)

表1-1 男女、行動の種類別生活時間(10歳以上)(平成23年、28年) - 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
1次活動	10.40	10.43	0.03	10.38	10.39	0.01	10.42	10.47	0.05	-0.08
2次活動	6.52	7.01	0.09	6.32	6.48	0.16	7.09	7.13	0.04	-0.25
3次活動	6.28	6.16	-0.12	6.50	6.34	-0.16	6.09	6.00	-0.09	0.34
全国										
1次活動	10.40	10.41	0.01	10.33	10.34	0.01	10.46	10.49	0.03	-0.15
2次活動	6.53	6.57	0.04	6.49	6.50	0.01	6.57	7.03	0.06	-0.13
3次活動	6.27	6.22	-0.05	6.38	6.36	-0.02	6.16	6.09	-0.07	0.27

注) 1次活動・・・睡眠、食事など生理的に必要な活動。
 2次活動・・・仕事、家事等社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動。
 3次活動・・・1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動。

表1 - 2 男女、行動の種類別(24区分)生活時間(平成23年、28年) 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
1次活動	10.40	10.43	0.03	10.38	10.39	0.01	10.42	10.47	0.05	-0.08
睡眠	7.47	7.45	-0.02	7.58	7.55	-0.03	7.38	7.36	-0.02	0.19
身の回りの用事	1.20	1.22	0.02	1.10	1.10	0.00	1.28	1.32	0.04	-0.22
食事	1.33	1.36	0.03	1.30	1.33	0.03	1.36	1.38	0.02	-0.05
2次活動	6.52	7.01	0.09	6.32	6.48	0.16	7.09	7.13	0.04	-0.25
通勤・通学	0.25	0.26	0.01	0.30	0.30	0.00	0.21	0.22	0.01	0.08
仕事	3.42	3.48	0.06	4.41	4.49	0.08	2.50	2.54	0.04	1.55
学業	0.44	0.47	0.03	0.47	0.52	0.05	0.42	0.43	0.01	0.09
家事	1.23	1.20	-0.03	0.15	0.16	0.01	2.24	2.17	-0.07	-2.01
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.02	0.02	0.00	0.04	0.04	0.00	-0.02
育児	0.11	0.12	0.01	0.04	0.04	0.00	0.17	0.20	0.03	-0.16
買い物	0.22	0.25	0.03	0.13	0.15	0.02	0.31	0.34	0.03	-0.19
3次活動	6.28	6.16	-0.12	6.50	6.34	-0.16	6.09	6.00	-0.09	0.34
移動(通勤・通学を除く)	0.26	0.24	-0.02	0.24	0.22	-0.02	0.29	0.27	-0.02	-0.05
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.30	2.22	-0.08	2.39	2.29	-0.10	2.22	2.15	-0.07	0.14
休養・くつろぎ	1.33	1.40	0.07	1.32	1.41	0.09	1.33	1.40	0.07	0.01
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.12	0.10	-0.02	0.12	0.10	-0.02	0.13	0.11	-0.02	-0.01
趣味・娯楽	0.37	0.37	0.00	0.47	0.47	0.00	0.27	0.28	0.01	0.19
スポーツ	0.16	0.15	-0.01	0.23	0.20	-0.03	0.10	0.10	0.00	0.10
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.00	0.06	0.03	-0.03	0.05	0.06	0.01	-0.03
交際・付き合い	0.20	0.15	-0.05	0.19	0.14	-0.05	0.21	0.15	-0.06	-0.01
受診・療養	0.10	0.10	0.00	0.08	0.10	0.02	0.11	0.09	-0.02	0.01
その他	0.20	0.18	-0.02	0.21	0.18	-0.03	0.19	0.19	0.00	-0.01
(再掲)										
家事関連時間 1)	1.59	2.00	0.01	0.34	0.37	0.03	3.16	3.15	-0.01	-2.38
休養等自由時間活動 2)	4.03	4.02	-0.01	4.11	4.10	-0.01	3.55	3.55	0.00	0.15
積極的自由時間活動 3)	1.10	1.07	-0.03	1.28	1.20	-0.08	0.55	0.55	0.00	0.25

年齢階級別にみると、1次活動時間は、男性は35～44歳(10時間2分)、女性は45～54歳(9時間40分)が最も短く、男女ともに75歳以上(12時間25分)で最も長くなっている。

2次活動時間は、男女ともに75歳以上(男性：2時間17分、女性：3時間13分)が最も短く、男性は25～34歳(9時間18分)、女性は35～44歳(9時間3分)が最も長くなっている。

3次活動時間は、男女ともに25～34歳(男性：4時間39分、女性：4時間20分)が最も短く、男女ともに75歳以上(男性：9時間19分、女性：8時間22分)が最も長くなっている。(図1-1、図1-2)

図1-1 年齢階級、行動の種類別生活時間(平成28年) - 週全体、男 (単位 時間.分)

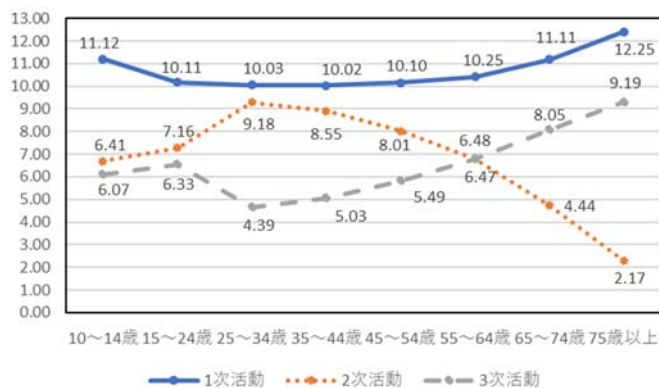
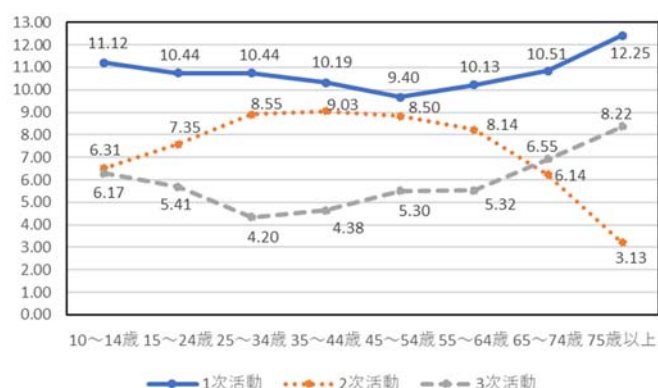


図1-2 年齢階級、行動の種類別生活時間(平成28年) - 週全体、女 (単位 時間.分)



2 1次活動

(1) 睡眠時間

睡眠時間は男性が女性よりも19分長く、男性は15～24歳、女性は45～54歳で最も短い

週全体の睡眠時間は7時間45分で、平成23年と比べ、2分減少している。

これを男女別にみると、男性は7時間55分、女性は7時間36分で、平成23年に比べ、男性は3分、女性は2分減少している。

年齢階級別にみると、45～54歳が最も短く、次いで55～64歳が7時間22分となっており、75歳以上が8時間52分と最も長くなっている。

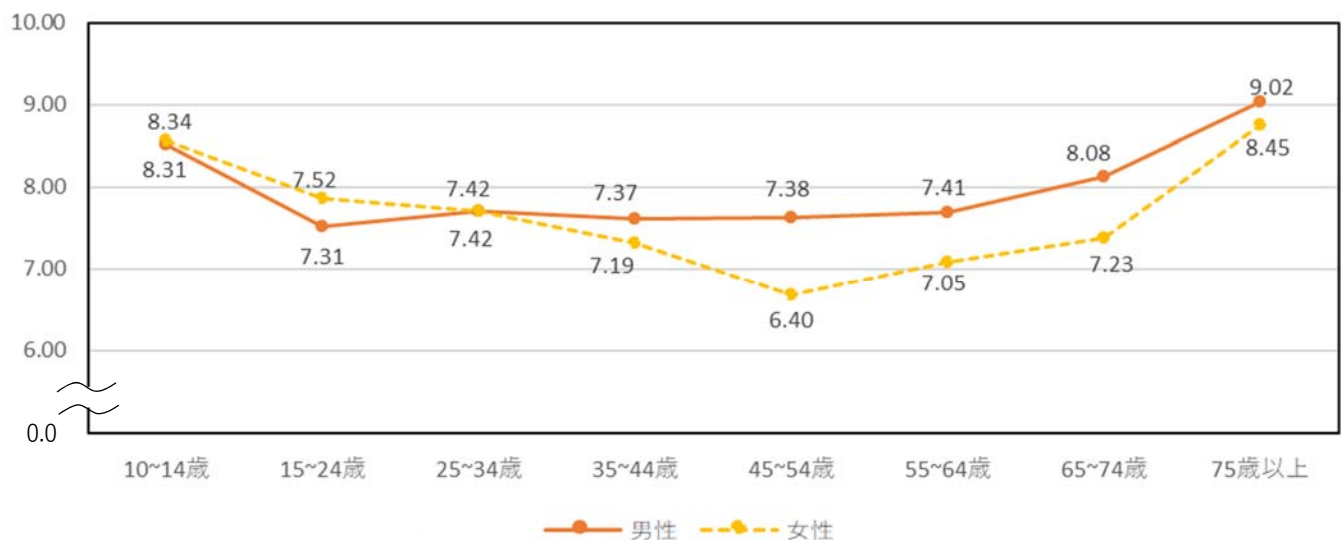
これを男女別にみると、男性は15～24歳が7時間31分、女性は45～54歳が6時間40分と最も短くなっており、平成23年と比べ、15～24歳の男性は34分、45～54歳の女性は10分減少している。

全国と比べると、5分長くなっており、男女別にみると、男性は10分、女性は1分長くなっている。(表2-1)

表2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成23年、28年) 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
総数	7.47	7.45	-0.02	7.58	7.55	-0.03	7.38	7.36	-0.02	0.19
10～14歳	8.27	8.33	0.06	8.25	8.31	0.06	8.29	8.34	0.05	-0.03
15～24歳	7.53	7.41	-0.12	8.05	7.31	-0.34	7.42	7.52	0.10	-0.21
25～34歳	7.41	7.42	0.01	7.51	7.42	-0.09	7.31	7.42	0.11	0.00
35～44歳	7.13	7.28	0.15	7.31	7.37	0.06	6.57	7.19	0.22	0.18
45～54歳	7.08	7.08	0.00	7.27	7.38	0.11	6.50	6.40	-0.10	0.58
55～64歳	7.30	7.22	-0.08	7.44	7.41	-0.03	7.16	7.05	-0.11	0.36
65～74歳	7.54	7.44	-0.10	8.05	8.08	0.03	7.44	7.23	-0.21	0.45
75歳以上	9.04	8.52	-0.12	9.16	9.02	-0.14	8.57	8.45	-0.12	0.17
全国	7.42	7.40	-0.02	7.49	7.45	-0.04	7.36	7.35	-0.01	0.10

図2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成28年) - 週全体 (単位 時間.分)



(2) 食事時間

食事時間は25～34歳で最も短く、高齢層で長い

週全体の食事時間は1時間36分で、平成23年と比べ3分増加している。

これを男女別にみると、男性は1時間33分、女性は1時間38分で、平成23年と比べ、男性は3分、女性は2分増加している。

年齢階級別にみると、75歳以上が2時間2分と最も長く、次いで、65～74歳が1時間49分となっており、平成23年と比べ、75歳以上は10分増加し、65～74歳は5分減少している。

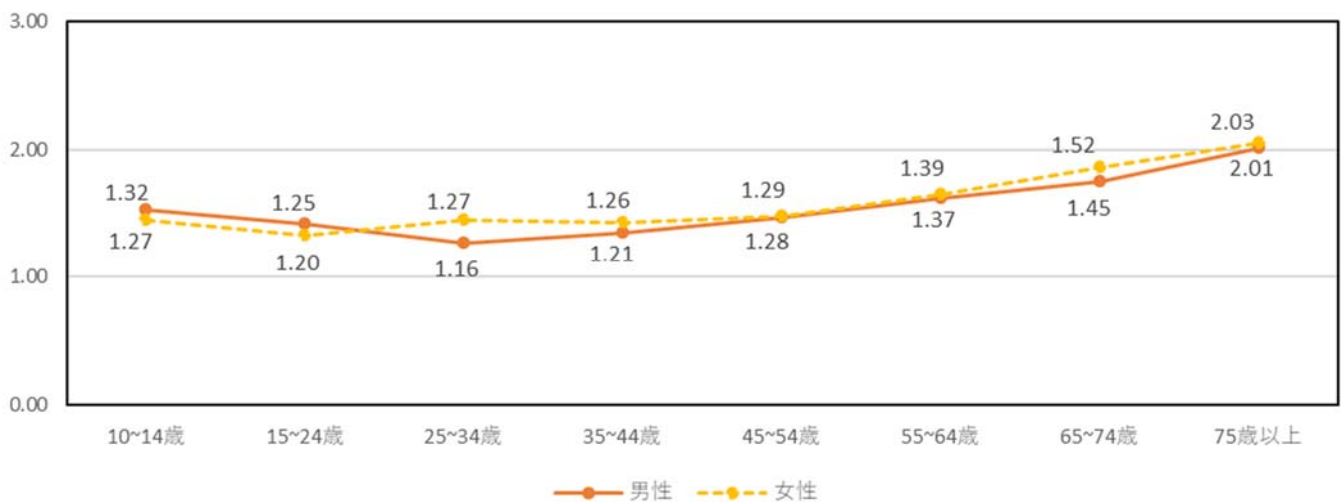
また、25～34歳が1時間21分と最も短く、次いで、15～24歳が1時間23分となっており、平成23年と比べ、25～34歳は3分減少し、15～24歳は7分増加している。

男女差をみると、女性が男性よりも5分長くなっており、特に、25～34歳では女性が男性よりも11分長くなっている。(表2-2)

表2-2 男女、年齢階級別食事時間(平成23年、28年) - 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
総数	1.33	1.36	0.03	1.30	1.33	0.03	1.36	1.38	0.02	-0.05
10～14歳	1.26	1.30	0.04	1.26	1.32	0.06	1.25	1.27	0.02	0.05
15～24歳	1.16	1.23	0.07	1.14	1.25	0.11	1.18	1.20	0.02	0.05
25～34歳	1.24	1.21	-0.03	1.17	1.16	-0.01	1.29	1.27	-0.02	-0.11
35～44歳	1.23	1.24	0.01	1.20	1.21	0.01	1.25	1.26	0.01	-0.05
45～54歳	1.27	1.29	0.02	1.26	1.28	0.02	1.27	1.29	0.02	-0.01
55～64歳	1.39	1.38	-0.01	1.35	1.37	0.02	1.43	1.39	-0.04	-0.02
65～74歳	1.54	1.49	-0.05	1.52	1.45	-0.07	1.55	1.52	-0.03	-0.07
75歳以上	1.52	2.02	0.10	1.55	2.01	0.06	1.51	2.03	0.12	-0.02
全国	1.39	1.40	0.01	1.36	1.38	0.02	1.42	1.43	0.01	-0.05

図2-2 男女、年齢階級別食事時間(平成28年) - 週全体 (単位 時間.分)



3 2次活動

(1) 仕事時間(有業者)

仕事時間は男女ともに25～34歳で最も長く、平成23年と比べると、男性は39分、女性は31分増加している

有業者(15歳以上、以下同じ)の週全体の仕事時間は6時間14分で、平成23年と比べ2分減少している。これを男女別にみると、男性は7時間3分、女性は5時間17分で、平成23年と比べ、男性は2分増加し、女性は7分減少している。

年齢階級別にみると、25～34歳が7時間18分と最も長く、次いで、35～44歳が6時間30分となっており、平成23年と比べ、25～34歳は38分長く、35～44歳は32分短くなっている。

これを男女別にみると、25～34歳の男性が8時間21分、同じく25～34歳の女性が6時間9分と最も長く、平成23年と比べ、25～34歳の男性は39分、25～34歳の女性は31分増加している。

また、75歳以上が4時間3分と最も短く、65～74歳が5時間20分となっており、平成23年と比べ、75歳以上は46分、65～74歳は26分増加している。

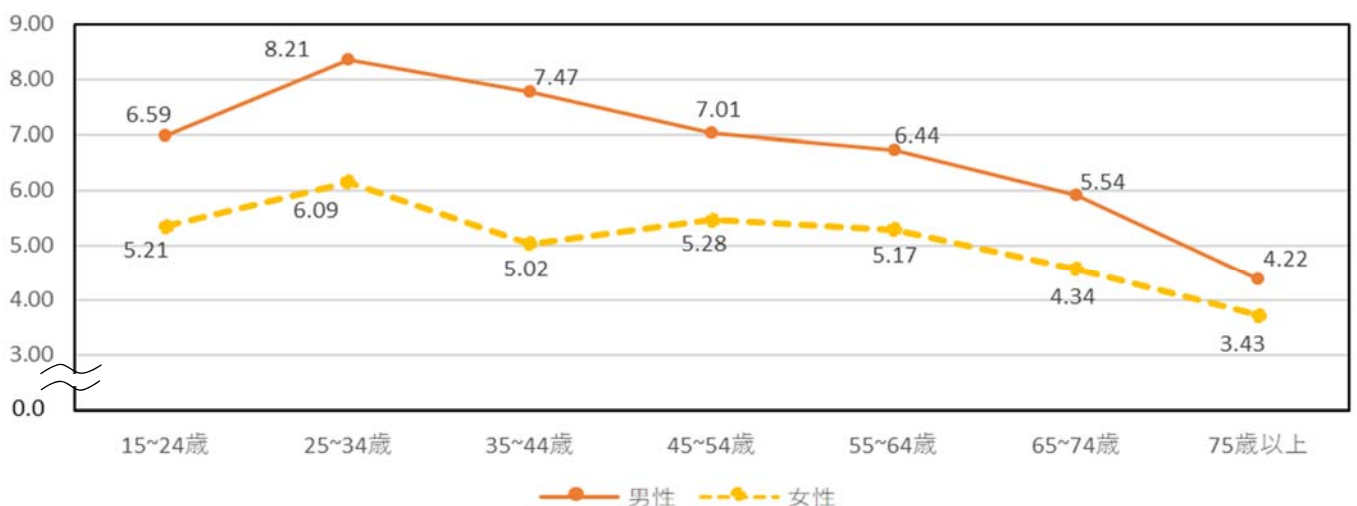
これを男女別にみると、男女ともに、75歳以上が最も短く、男性が4時間22分、女性が3時間43分となっており、平成23年と比べ、男性は1時間12分、女性は10分増加している。

男女差をみると、男性が女性よりも1時間46分長くなっており、特に、35～44歳では男性が女性よりも2時間45分長くなっている。(表3-1)

表3-1 男女、年齢階級別仕事時間(平成23年、28年) 週全体、有業者(15歳以上) (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
総数	6.16	6.14	-0.02	7.01	7.03	0.02	5.24	5.17	-0.07	1.46
15～24歳	6.15	6.11	-0.04	6.00	6.59	0.59	6.25	5.21	-1.04	1.38
25～34歳	6.40	7.18	0.38	7.42	8.21	0.39	5.38	6.09	0.31	2.12
35～44歳	7.02	6.30	-0.32	7.52	7.47	-0.05	6.02	5.02	-1.00	2.45
45～54歳	6.32	6.17	-0.15	7.45	7.01	-0.44	5.18	5.28	0.10	1.33
55～64歳	5.51	6.02	0.11	6.37	6.44	0.07	4.59	5.17	0.18	1.27
65～74歳	4.54	5.20	0.26	5.39	5.54	0.15	3.48	4.34	0.46	1.20
75歳以上	3.17	4.03	0.46	3.10	4.22	1.12	3.33	3.43	0.10	0.39
全国	6.02	5.55	-0.07	6.56	6.49	-0.07	4.50	4.47	-0.03	2.02

図3-1 男女、年齢階級別仕事時間(平成28年) - 週全体、有業者(15歳以上) (単位 時間.分)



(2) 家事関連時間

家事関連時間は男性が37分、女性は3時間15分と男女の間に依然として大きな差がみられる

週全体の家事関連時間は2時間で、平成23年と比べ1分増加している。

これを男女別にみると、男性は37分、女性は3時間15分で、平成23年と比べ、男性は3分増加し、女性は1分減少している。

年齢階級別にみると、35～44歳が2時間36分と最も長く、次いで、65～74歳が2時間31分となっており、平成23年と比べ、35～44歳は7分増加し、65～74歳は5分減少している。

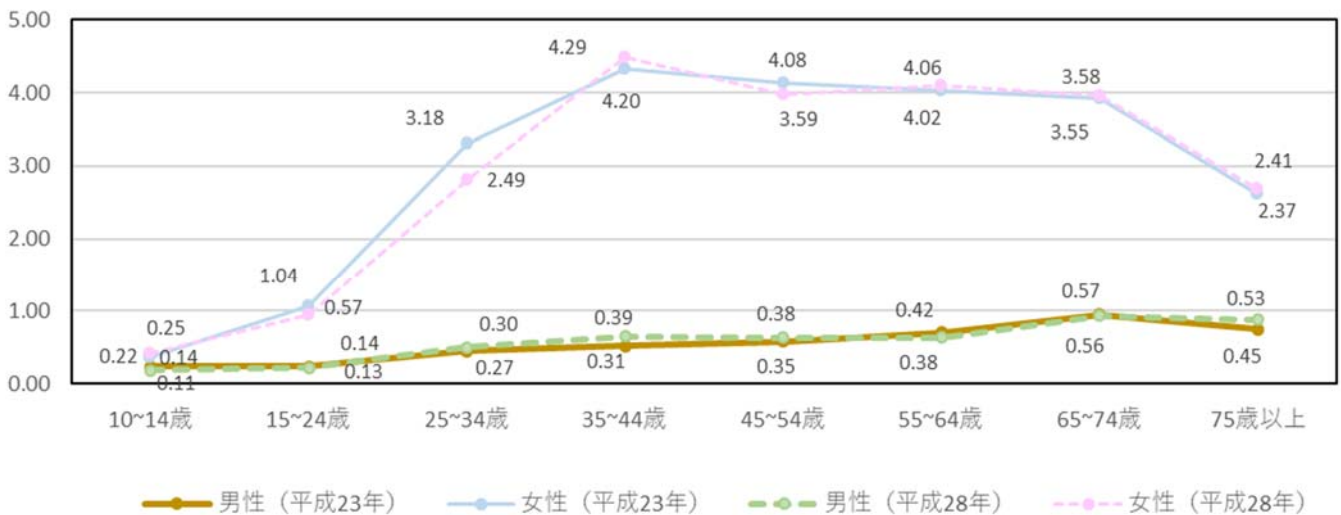
男女差をみると、平成23年よりも差は4分縮小しているものの、女性が男性よりも2時間38分長くなっている。特に、男女差が最も大きい35～44歳では、平成23年に比べ、男性は8分増加したものの、女性も9分増加しており、男女の間に依然として大きな差がある。

全国と比べると、8分短くなっており、男性は7分、女性は13分短くなっている。(表3-2)

表3-2 男女、年齢階級別家事関連時間(平成23年、28年) - 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成23年)	男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減		
総数	1.59	2.00	0.01	0.34	0.37	0.03	3.16	3.15	-0.01	-2.42	-2.38
10～14歳	0.18	0.19	0.01	0.14	0.11	-0.03	0.22	0.25	0.03	-0.08	-0.14
15～24歳	0.41	0.35	-0.06	0.14	0.13	-0.01	1.04	0.57	-0.07	-0.05	-0.44
25～34歳	1.54	1.40	-0.14	0.27	0.30	0.03	3.18	2.49	-0.29	-2.51	-2.19
35～44歳	2.29	2.36	0.07	0.31	0.39	0.08	4.20	4.29	0.09	-3.49	-3.50
45～54歳	2.24	2.22	-0.02	0.35	0.38	0.03	4.08	3.59	-0.09	-3.33	-3.21
55～64歳	2.25	2.25	0.00	0.42	0.38	-0.04	4.02	4.06	0.04	-3.20	-3.28
65～74歳	2.36	2.31	-0.05	0.57	0.56	-0.01	3.55	3.58	0.03	-2.58	-3.02
75歳以上	1.56	2.01	0.05	0.45	0.53	0.08	2.37	2.41	0.04	-1.52	-1.48
全国	2.10	2.08	-0.02	0.42	0.44	0.02	3.35	3.28	-0.07	-2.53	-2.44

図3-2 男女、年齢階級別家事関連時間(平成23年、28年) - 週全体 (単位 時間.分)



4 3次活動

(1) 休養等自由時間活動

休養等自由時間活動の時間は男女ともに75歳以上が最も長くなっている

週全体の休養等自由時間活動の時間は4時間2分で、平成23年と比べ1分減少している。

これを男女別にみると、男性は4時間10分、女性は3時間55分で、平成23年と比べ、男性は1分減少し、女性は横ばいとなっている。

年齢階級別にみると、75歳以上が6時間20分と最も長く、次いで、65～74歳が5時間となっており、平成23年と比べ、75歳以上は5分、65～74歳は14分減少している。

男女差をみると、男性が女性よりも15分長くなっており、年齢階級別では、34歳以下で女性が男性を上回っているが、35歳以上では男性が女性を上回っている。

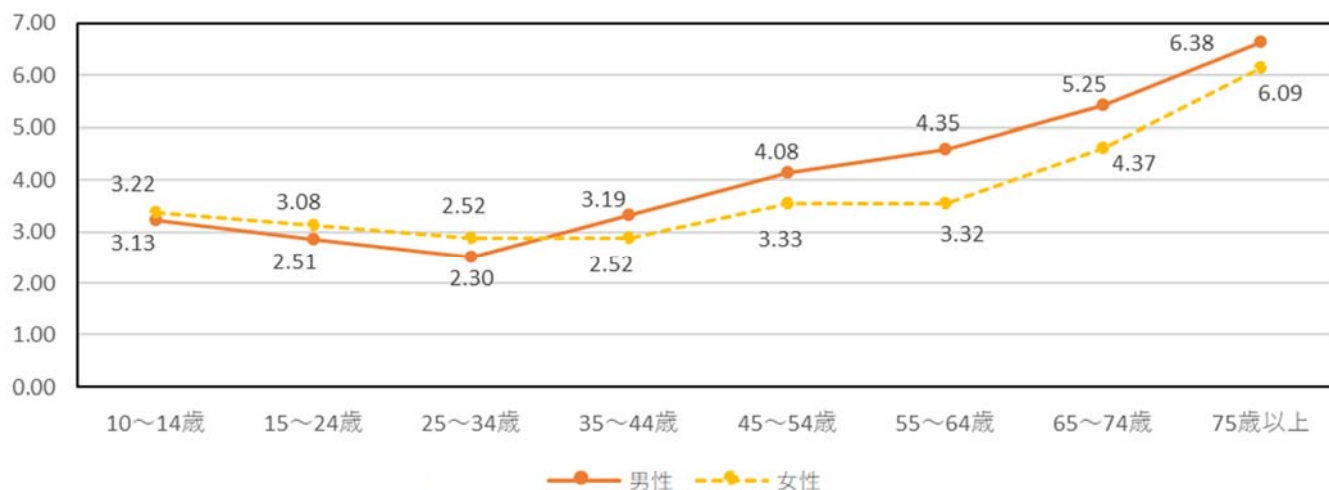
種類別にみると、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が2時間22分、「休養・くつろぎ」の時間が1時間40分となっており、平成23年と比べ、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」は8分減少し、「休養・くつろぎ」は7分増加している。

全国と比べると、10分長くなっており、男性は14分、女性は8分長くなっている。(表4-1)

表4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動(平成23年、28年) 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
休養等自由時間活動(佐賀県)	4.03	4.02	-0.01	4.11	4.10	-0.01	3.55	3.55	0.00	0.15
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.30	2.22	-0.08	2.39	2.29	-0.10	2.22	2.15	-0.07	0.14
休養・くつろぎ	1.33	1.40	0.07	1.32	1.41	0.09	1.33	1.40	0.07	0.01
10～14歳	3.16	3.18	0.02	3.10	3.13	0.03	3.22	3.22	0.00	-0.09
15～24歳	3.18	3.00	-0.18	3.31	2.51	-0.40	3.05	3.08	0.03	-0.17
25～34歳	3.12	2.42	-0.30	3.29	2.30	-0.59	2.55	2.52	-0.03	-0.22
35～44歳	3.01	3.05	0.04	3.15	3.19	0.04	2.48	2.52	0.04	0.27
45～54歳	3.29	3.50	0.21	3.46	4.08	0.22	3.14	3.33	0.19	0.35
55～64歳	4.00	4.02	0.02	4.13	4.35	0.22	3.47	3.32	-0.15	1.03
65～74歳	5.14	5.00	-0.14	5.41	5.25	-0.16	4.52	4.37	-0.15	0.48
75歳以上	6.25	6.20	-0.05	6.34	6.38	0.04	6.19	6.09	-0.10	0.29
休養等自由時間活動(全国)	3.58	3.52	-0.06	4.02	3.56	-0.06	3.55	3.47	-0.08	0.09

図4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動(平成28年) - 週全体 (単位 時間.分)



(2) 積極的自由時間活動

積極的自由時間活動の時間は、男性が女性よりも25分長くなっている

週全体の積極的自由時間活動の時間は1時間7分で、平成23年と比べ3分減少している。

これを男女別にみると、男性は1時間20分、女性は55分で、平成23年と比べ男性は8分減少し、女性は横ばいとなっている。

年齢階級別にみると、10～14歳が2時間12分と最も長く、次いで15～24歳が2時間7分となっており、平成23年と比べ、10～14歳は21分減少し、15～24歳は35分増加している。

これを男女別にみると、男性は15～24歳が2時間8分、女性は10～14歳が2時間14分と最も長く、平成23年と比べ、15～24歳の男性は46分減少し、10～14歳の女性は3分増加している。

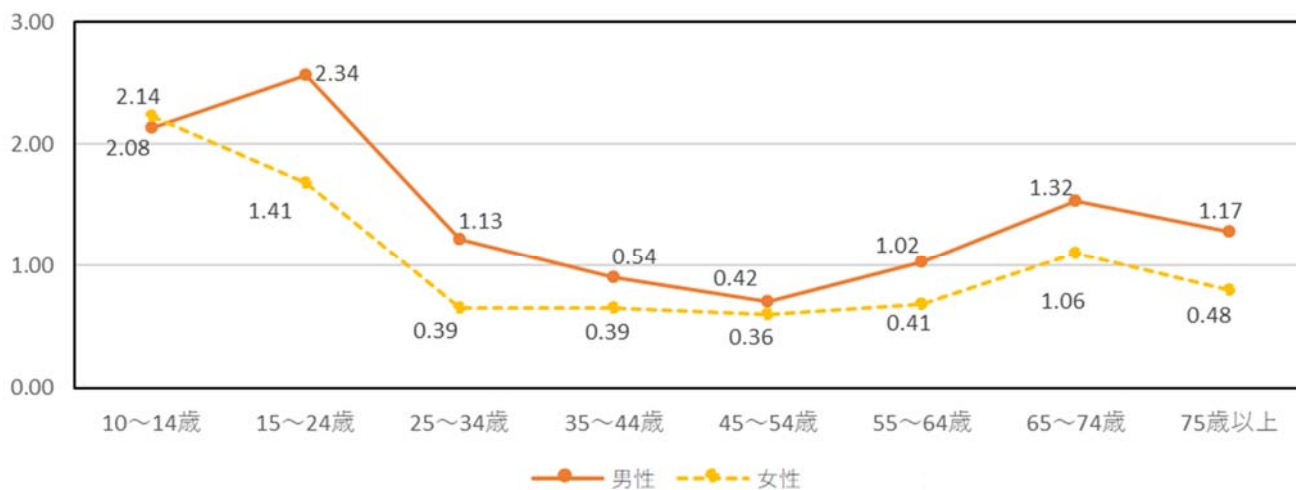
種類別にみると、「趣味・娯楽」が37分と最も長くなっており、次いで、「スポーツ」が15分となっている。

男女差をみると、男性が女性よりも25分長くなっており、「趣味・娯楽」で19分、「スポーツ」で10分、それぞれ男性が女性を上回っている。(表4-2)

表4-2 男女、年齢階級別積極的自由時間活動(平成23年、28年) - 週全体 (単位 時間.分)

佐賀県	総数			男			女			男女差 (平成28年)
	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	平成23年	平成28年	増減	
積極的自由時間活動(佐賀県)	1.10	1.07	-0.03	1.28	1.20	-0.08	0.55	0.55	0.00	0.25
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.12	0.10	-0.02	0.12	0.10	-0.02	0.13	0.11	-0.02	-0.01
趣味・娯楽	0.37	0.37	0.00	0.47	0.47	0.00	0.27	0.28	0.01	0.19
スポーツ	0.16	0.15	-0.01	0.23	0.20	-0.03	0.10	0.10	0.00	0.10
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.00	0.06	0.03	-0.03	0.05	0.06	0.01	-0.03
10～14歳	2.33	2.12	-0.21	2.54	2.08	-0.46	2.11	2.14	0.03	-0.06
15～24歳	1.32	2.07	0.35	1.54	2.34	0.40	1.11	1.41	0.30	0.53
25～34歳	1.03	0.57	-0.06	1.27	1.13	-0.14	0.39	0.39	0.00	0.34
35～44歳	0.51	0.46	-0.05	1.05	0.54	-0.11	0.42	0.39	-0.03	0.15
45～54歳	0.42	0.38	-0.04	0.49	0.42	-0.07	0.37	0.36	-0.01	0.07
55～64歳	1.01	0.51	-0.10	1.11	1.02	-0.09	0.53	0.41	-0.12	0.21
65～74歳	1.31	1.19	-0.12	1.51	1.32	-0.19	1.12	1.06	-0.06	0.27
75歳以上	1.00	0.59	-0.01	1.23	1.17	-0.06	0.45	0.48	0.03	0.29
積極的自由時間活動(全国)	1.14	1.18	0.04	1.28	1.32	0.04	1.04	1.03	-0.01	0.29

図4-2 男女、年齢階級別積極的自由時間活動(平成28年) - 週全体 (単位 時間.分)



5 各種属性別にみた生活時間

(1) 夫と妻の生活時間

共働きか否かにより、夫と妻の育児時間に大きな差がみられる

夫婦と子供の世帯（「夫婦と子供の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」）のうち、「共働き世帯」（夫も妻も有業の世帯。以下同じ。）及び「夫が有業で妻が無業の世帯」について、夫と妻の生活時間をみると、「共働き世帯」の夫は1次活動時間が10時間5分、2次活動時間が9時間8分、3次活動時間が4時間47分で「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫に比べ、1次活動時間は11分短く、2次活動時間は27分長く、3次活動時間は16分短くなっている。

「共働き世帯」の妻は1次活動時間が9時間54分、2次活動時間が10時間14分、3次活動時間が3時間51分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻に比べ、1次活動時間は6分、2次活動時間は2時間13分長く、3次活動は2時間20分短くなっており、夫の2次活動時間及び3次活動時間に比べて、共働きか否かで大きな差がみられる。

また、2次活動時間のうち、育児時間は、「共働き世帯」の夫は11分、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫は10分と、1分の差であるのに対して、「共働き世帯」の妻の育児時間は48分、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻は1時間58分で、「夫が有業で妻が無業の世帯」の妻が1時間10分長くなっている。

さらに、末子の年齢階級別に育児時間をみると、「共働き世帯」の夫及び妻、「夫が有業で妻が無業の世帯」の夫及び妻いずれも0歳が最も長くなっている。「共働き世帯」では、夫よりも妻が7時間3分長くなっており、「夫が有業で妻が無業の世帯」では、夫よりも妻が4時間52分長くなっている。（表5 - 1）

表5 - 1 末子の年齢階級、共働きか否か別生活時間（平成28年） 週全体 （単位 時間・分）

末子の 年齢階級	共働き世帯						夫が有業で妻が無業の世帯						
	1次活動	2次活動	3次活動			1次活動	2次活動	3次活動					
			仕事等	家事関連	うち育児			仕事等	家事関連	うち育児			
夫	総数	10.05	9.08	8.24	0.43	0.11	4.47	10.16	8.41	8.02	0.34	0.10	5.03
	0歳	10.34	10.00	6.44	3.16	0.59	3.26	10.38	10.16	8.37	1.39	1.23	3.05
	1～2歳	10.35	10.28	8.47	1.22	0.40	2.27	10.18	8.32	7.30	0.43	0.13	5.10
	3～5歳	10.15	9.00	7.59	0.59	0.27	4.45	10.08	10.26	10.05	0.21	0.04	3.26
	6～11歳	9.38	9.54	9.31	0.23	0.04	4.28	10.23	8.26	7.59	0.27	0.02	5.11
	12～14歳	8.47	10.10	9.46	0.23	0.01	5.03	9.45	9.21	9.00	0.20	-	4.54
	15～17歳	9.56	10.05	9.11	0.53	0.00	3.59	0.00	0.00
	18歳以上	10.19	8.15	7.51	0.22	0.00	5.27	10.02	8.01	7.32	0.28	0.00	5.58
妻	総数	9.54	10.14	5.32	4.33	0.48	3.51	9.48	8.01	0.02	7.59	1.58	6.11
	0歳	10.52	10.41	0.07	10.33	8.02	2.28	10.05	9.32	0.00	9.32	6.15	4.23
	1～2歳	10.41	11.07	6.11	4.55	2.29	2.12	11.03	9.30	0.05	9.25	4.58	3.27
	3～5歳	10.26	10.47	5.35	4.45	1.08	2.47	12.45	6.19	0.00	6.18	1.39	4.56
	6～11歳	9.47	10.13	5.34	4.37	0.14	4.00	9.38	8.16	0.02	8.14	0.45	6.06
	12～14歳	8.53	10.07	5.03	4.59	0.11	5.00	8.42	8.13	0.00	8.13	-	7.05
	15～17歳	9.18	10.28	5.51	4.25	0.03	4.13	0.00	0.00
	18歳以上	9.51	9.43	5.49	3.47	0.07	4.26	9.01	6.54	0.01	6.52	0.13	8.05

注) 表中「-」は、該当の行動者が皆無の場合及び同値の人口や標本数が連続するため省略している箇所。

表中「...」は、当該属性の標本数が皆無の場合及び標本数が10未満で、結果精度の観点から表章していない箇所。

6 主な行動の平均時刻

(1) 起床・就寝時刻、朝食・夕食開始時刻

平均起床時間及び平均夕食開始時間は女性、平均就寝時刻及び平均朝食開始時間は男性が早い

平均起床時刻を曜日別にみると、平日が6時33分、土曜日が6時59分、日曜日が7時5分となっており、平日に比べ土曜日は26分、日曜日は32分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は1分遅く、土曜日は2分、日曜日は4分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で女性が早くなっている。

平均就寝時刻を曜日別にみると、平日が23時10分、土曜日が23時6分、日曜日が22時50分となっており、平日に比べ土曜日は4分、日曜日は20分早くなっている。全国平均と比べると、平日は5分、土曜日は9分、日曜日は14分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が早くなっている。

平均朝食開始時刻を曜日別にみると、平日が7時10分、土曜日が7時30分、日曜日が7時40分となっており、平日に比べ土曜日は20分遅く、日曜日は30分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は3分、土曜日は2分、日曜日は3分遅くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が早くなっている。

平均夕食開始時刻を曜日別にみると、平日が19時2分、土曜日が18時47分、日曜日が18時37分となっており、平日に比べ土曜日は15分、日曜日は25分早くなっている。全国平均と比べると、平日は3分、土曜日は2分、日曜日は6分早くなっている。男女別にみると、全ての曜日で女性が早くなっている。(表6-1)

表6-1 男女、曜日別、起床・就寝及び朝食・夕食開始の平均時刻(平成28年)
(単位 時:分)

佐賀県		起床	就寝	朝食開始	夕食開始
総数	平日	6:33	23:10	7:10	19:02
	土曜日	6:59	23:06	7:30	18:47
	日曜日	7:05	22:50	7:40	18:37
男	平日	6:41	23:07	7:05	19:08
	土曜日	7:08	23:05	7:28	18:49
	日曜日	7:07	22:48	7:37	18:41
女	平日	6:25	23:14	7:14	18:57
	土曜日	6:50	23:08	7:31	18:45
	日曜日	7:03	22:51	7:44	18:33
全国					
総数	平日	6:32	23:15	7:07	19:05
	土曜日	7:01	23:15	7:28	18:49
	日曜日	7:09	23:04	7:37	18:43

(2) 出勤及び仕事からの帰宅時刻

出勤時間は男性が早く、帰宅時間は女性が早い

15歳以上の有業者の平均出勤時刻を曜日別にみると、平日が8時23分、土曜日が8時46分、日曜日が8時53分となっており、平日に比べ土曜日は23分、日曜日は30分遅くなっている。全国平均と比べると、平日は1分、土曜日は2分、日曜日は42分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で男性が早くなっている。

平均帰宅時刻を曜日別にみると、平日が18時36分、土曜日が18時10分、日曜日が17時51分となっており、平日に比べ土曜日は26分早く、日曜日は45分早くなっている。全国平均と比べると、平日は17分、土曜日は7分、日曜日は56分早くなっている。男女別にみると、すべての曜日で女性が早くなっている。(表6-2)

表6-2 男女、曜日別、平均出勤時刻及び仕事からの平均帰宅時刻(平成28年) - 有業者(15歳以上)
(単位 時:分)

佐賀県		出勤	帰宅
総数	平日	8:23	18:36
	土曜日	8:46	18:10
	日曜日	8:53	17:51
男	平日	7:52	19:04
	土曜日	8:33	18:35
	日曜日	8:48	18:49
女	平日	8:59	18:04
	土曜日	9:04	17:35
	日曜日	9:01	16:29
全国			
総数	平日	8:24	18:53
	土曜日	8:48	18:17
	日曜日	9:35	18:47

7 スマートフォン・パソコンなどの使用状況

(1) スマートフォン・パソコンなどの使用割合

スマートフォン・パソコンなどの使用割合は男性は20～24歳、女性は25～29歳で最も高い

スマートフォン・パソコンなどを使用した人は男性で18万4千人、女性は20万1千人で、人口あたりの使用した人の割合（以下、「使用割合」という）は、男性が53.8%、女性が52.9%となっている。

男女別、年齢階級別にみると、男性では20～24歳、女性では25～29歳の使用割合が最も高くなっており、15歳～59歳までの各年齢階級では、男性よりも女性の使用割合が高く、10～14歳及び60歳以上では男性の使用割合が高くなっている。（表7-1）

表7-1 男女、年齢階級別スマートフォン・パソコンなどの使用した人の割合(平成28年) - 週全体
(単位 %)

	佐賀県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	53.3	53.8	52.9	60.1	61.9	58.4
10～14歳	50.0	52.4	47.4	59.1	59.8	58.4
15～19歳	86.0	81.8	90.5	87.0	86.8	87.2
20～24歳	91.2	88.2	94.1	89.9	88.4	91.5
25～29歳	86.5	77.8	94.7	88.3	86.5	90.3
30～34歳	86.4	81.8	90.9	86.9	85.5	88.4
35～39歳	83.7	83.3	87.5	84.8	83.7	85.9
40～44歳	77.4	69.2	85.2	81.5	79.7	83.3
45～49歳	66.0	58.3	73.1	76.8	73.9	79.7
50～54歳	66.7	65.2	68.0	70.9	67.9	74.0
55～59歳	50.9	48.0	55.6	60.7	60.0	61.4
60～64歳	38.3	44.8	32.3	45.7	46.7	44.7
65～69歳	22.4	25.0	20.6	34.3	37.8	31.0
70～74歳	11.9	15.8	8.7	24.6	29.0	20.9
75歳以上	7.9	10.3	4.8	10.8	15.4	7.7

(2) スマートフォン・パソコンなどの使用時間

スマートフォン・パソコンなどを使用した人の使用時間は1～3時間未満が一番多い

男女別にスマートフォンやパソコンなどを使用した人の使用時間をみると、男女ともに1～3時間未満が一番高くなっている（男性：42.1%、女性：38.3%）。1時間未満が男性では30.1%、女性では36.8%で、2番目に高くなっている。なお、12時間以上使用している人の割合は男性で2.7%、女性では1.5%となっている。（表7-2）

表7-2 男女、スマートフォン・パソコンなどの使用の有無、使用時間別の人数及び構成比(平成28年) - 週全体
(単位 %)

	使用しなかった	使用した					
			1時間未満	1～3時間未満	3～6時間未満	6～12時間未満	12時間以上
総数	46.7	53.3	33.7	40.2	17.5	6.8	1.8
男	46.2	53.8	30.1	42.1	19.1	6.0	2.7
女	47.1	52.9	36.8	38.3	15.9	7.5	1.5

注) 使用時間別の構成比については、使用した人における割合（使用時間不詳を除く）

注) ここでいう「スマートフォン・パソコンなどの使用」とは、学業・仕事以外の目的で使用した場合をいう。